



議題②資料②

第2期いの町まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和6年度 効果検証シート



【目次】

- 基本目標 1 . . . 1 ページ～4 0 ページ
- 基本目標 2 . . . 4 1 ページ～5 2 ページ
- 基本目標 3 . . . 5 3 ページ～7 1 ページ
- 基本目標 4 . . . 7 2 ページ～8 2 ページ

基本目標1 産業活性化と安定した雇用を創出する

基本的方向	連番	担当課	具体的な施策(詳細)	単位	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値	R5 目標値	R5 実績値	R6 目標値	R6 実績値	総合評価	R6(最終年度) 時点	累計
(1)地産の強化を図る (ア)農業の振興を図る	1	産業経済課	利用権新規設定数	件	10	27	10	15	10	12	10	20	10	25	◎	10	
	2	産業経済課	農地中間管理機構利用数 出し手(件数)	件	5	2	5	0	5	0	5	0	5	19	◎	5	
	3	産業経済課	農地中間管理機構利用数 出し手(面積)	ha	1	0.45	1	0	1	0	1	0	1	2	◎	1	
	4	産業経済課	農地中間管理機構利用数 受け手(件数)	件	3	1	3	0	3	0	3	0	3	11	◎	3	
	5	産業経済課	農地中間管理機構利用数 受け手(面積)	ha	1.2	0.25	1.2	0	1.2	0	1.2	0	1.2	2	◎	1.2	
	6	産業経済課・吾北産業課	中山間地域等直接支払集落協定締結数	集落	18	17	19	17	18	17	18	17	18	17	△	18	
	7	産業経済課・吾北産業課	中山間地域等直接支払集落協定面積	m ²	1,448,032	1,192,587	1,448,032	1,200,200	1,448,032	1,191,922	1,448,032	1,171,760	1,448,032	1,172,022	△	1,448,032	
	8	産業経済課	多面的機能支払対象組織数	組織	2	2	2	2	2	1	2	1	2	1	△	2	
	9	産業経済課・吾北産業課	集落営農組織数	組織	12	1	12	11	12	11	12	11	12	11	△	12	
	10	吾北産業課	作業受託面積	ha	15	19	15	21	15	25	15	25	15	33	◎	15	
	11	産業経済課	農業次世代人材投資資金(経営開始型) 夫婦型	組	1	0	1	0	2	0	2	0	3	0	△	3	○
	12	産業経済課	農業次世代人材投資資金(経営開始型) 単独型	人	1	0	2	1	5	2	6	3	7	4	△	7	○
	13	産業経済課	高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 生姜	千円	255,000	291,450	255,000	248,903	255,000	236,361	255,000	230,451	255,000	273,841	◎	255,000	
	14	産業経済課	高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 里芋・白芽芋	千円	6,025	3,513	6,025	3,640	6,025	4,561	6,025	4,925	6,028	4,420	△	6,028	
	15	吾北産業課	高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 柚子	千円	35,000	31,914	35,000	27,256	35,000	16,407	35,000	32,526	35,000	16,388	△	35,000	
	16	吾北産業課	高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 わさび	千円	4,500	3,610	4,500	3,674	4,500	1,895	4,500	2,261	4,500	3,130	△	4,500	
	17	本川産業建設課	本川きじの販売額	千円	32,927	14,210	32,927	12,969	32,927	14,936	32,927	18,284	32,927	21,322	△	32,927	
	18	吾北産業課	森の小さなお菓子屋さん	%	110	87	110	80	110	92	110	100	110	96	△	110	
	19	吾北産業課	吾北物産出荷協議会の売上	%	105	90	105	81	105	81	105	78	105	76	△	105	
	20	産業経済課	有害鳥獣捕獲数	頭(羽)	2,400	1,900	2,400	1,590	2,400	2,125	2,400	1,740	2,400	1,988	△	2,400	
	21	産業経済課	電気柵設置数	件	40	59	40	40	40	44	40	37	40	29	△	40	
	22	産業経済課・吾北産業課・本川産業建設課	狩猟免許取得補助数	件	10	10	10	10	10	14	10	8	10	11	◎	10	
	23	産業経済課・吾北産業課	新規就農者数	人	4	1	8	3	12	4	16	6	20	8	△	20	○
	24	産業経済課・吾北産業課	新規就農研修生	人	2	1	2	2	4	3	4	3	6	5	△	6	○

(イ)林業の振興	25	森林政策課	原木生産量	m以上	-	24,876	-	22,458	-	16,524	-	(暫定値) 18,381	50,000	(暫定値) 20,656	△	50,000	
	26	土木課・吾北建設課・本川産業経済課	林道整備(開設)	m	1,400	1,171	1,900	2,109	2,600	2,987	3,200	3,843	4,000	4,928	◎	4,000	○
(ウ)ものづくりや 地元産業の振興	27	産業経済課	新規立地件数	件	-	0	-	0	-	0	-	0	1	0	△	1	○
	28	産業経済課	中心市街地 新規開業事業所数	事業所	2	2	4	8	5	12	6	14	7	17	◎	7	○
	29	産業経済課	伊野製紙工業会会員の売上	百万円	23,000	23,108	23,000	24,290	23,000	20,000	23,000	23,000	23,000	21,358	△	23,000	
	30	産業経済課	高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上	万円	1,700	747	1,700	829	1,700	1,118	1,700	1,265	1,700	1,290	△	1,700	
	31	産業経済課	手すき職人数	人	7	6	7	6	7	6	7	6	7	6	△	7	
(エ)地産地消の徹底	32	産業経済課、吾北産業課、本川産業建設課	直販店の販売額	万円	27,270	25,400	27,270	25,687	27,270	26,453	27,270	23,135	27,270	24,018	△	27,270	
	33	教育委員会	学校給食の食材における地場産物の活用割合(金額ベース)	%	65	62	65	58	65	53	65	50	65	54	△	65	
(2)外商の強化を図る	34	産業経済課	体験型プログラム参加人数	人	26,599	14,489	29,546	18,612	29,841	22,629	30,139	25,144	30,440	25,272	△	30,440	
	35	産業経済課	体験料収入	千円	50,799	32,065	58,141	38,621	58,723	43,996	59,310	42,640	59,903	47,444	△	59,903	
(3)雇用の創出を図る	36	産業経済課・吾北産業課	新規就農者数	人	4	1	8	3	12	4	16	6	20	8	△	20	○
	37	産業経済課	新規就農研修生	人	2	1	2	2	4	3	4	3	6	5	△	6	○
	38	森林政策課	新規林業就業者	人	-	5	-	11	-	13	-	15	15	18	◎	15	○
	39	森林政策課	新規林業就業者への研修支援	人	-	12	-	28	-	41	-	48	55	53	△	55	○
	40	総合政策課	大学等との連携した事業展開検討	件	3	2	3	1	3	1	3	3	3	1	△	3	

※連番36と37は、連番23と24の再掲分

【推進委員からの意見】

高知県の倒産件数が昨年度は、過去10年間で最大であった。地場産業の支援は具体的にどのようにおこなっているのか。
→産業振興奨励金の交付、地産地消として、地元農業者や生産者が講師としておこなう、小中学生に対する出前授業を実施している。

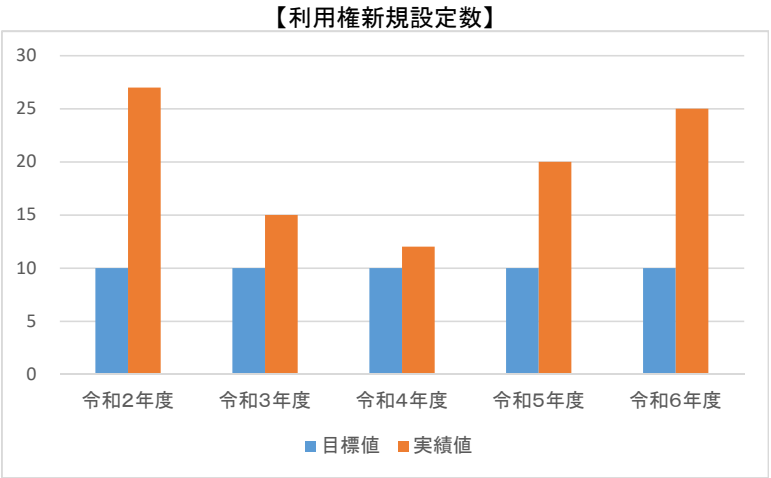
効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1	連番	1
-------	----	---

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	利用権新規設定数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★利用権新規設定数	10	件	6	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	10	10	10	10	10	件
実績値	27	15	12	20	25	件
目標に対する達成率	270%	150%	120%	200%	250%	単年度目標
基準値に対する増減率	350%	150%	100%	233%	317%	
評価	◎	◎	◎	◎	◎	
PLAN: 取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	窓口や現地での相談の際に利用権の設定を促すことで目標値を超える結果となった。					
CHECK: 分析	窓口や現地での周知により目標達成したと思われる。					
ACTION: 今後の対応	法律が改正され、令和7年度から利用権設定の制度が廃止されることとなった。そのため、農地中間管理事業が農地貸借の主要事業となる。このため、来年度以降は利用権設定における効果検証が不可能となる。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

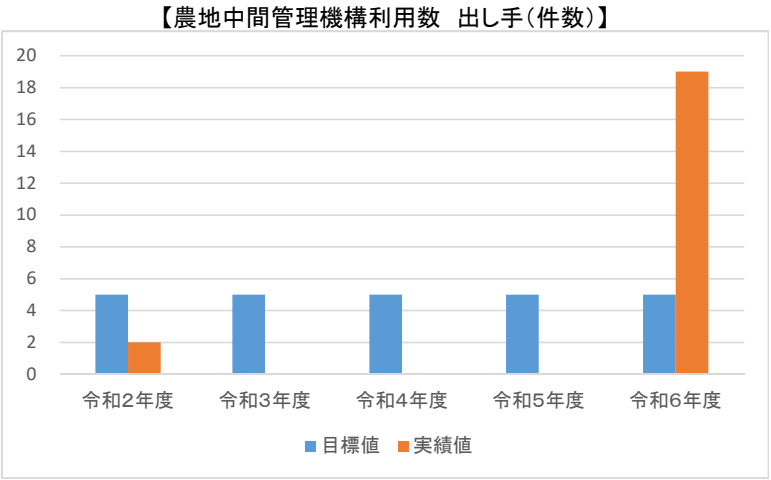


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	農地中間管理機構利用数 出し手(件数)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 出し手(件数)	5	件	0	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	5	5	5	5	5	件
実績値	2	0	0	0	19	件
目標に対する達成率	40%	0%	0%	0%	380%	単年度目標
基準値に対する増減率	200%	0%	0%	0%	1900%	
評価	△	△	△	△	◎	
PLAN:取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	北浦地区灌漑事業整備の条件に農地中間管理事業を活用することとあり、その結果、目標値を超える結果となった。					
CHECK:分析	北浦地区灌漑事業整備の条件であったため、農地中間管理事業を活用したが、それ以外では利用件数がないため、周知等が必要である。 また、令和6年度に法律が改正されたことに伴い、これまで利用権設定で農地の貸借をしていた方が、この農地中間管理事業を今後は活用していくため件数が増加する。					
ACTION:今後の対応	法律改正に伴い、今後は農地中間管理事業が農地貸借の主要事業となるため、県等が作成しているマニュアルを活用し、当事業を利用される方へ細かな説明を行っていく。また、各農業関係の総会時に事業周知を行っていく。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

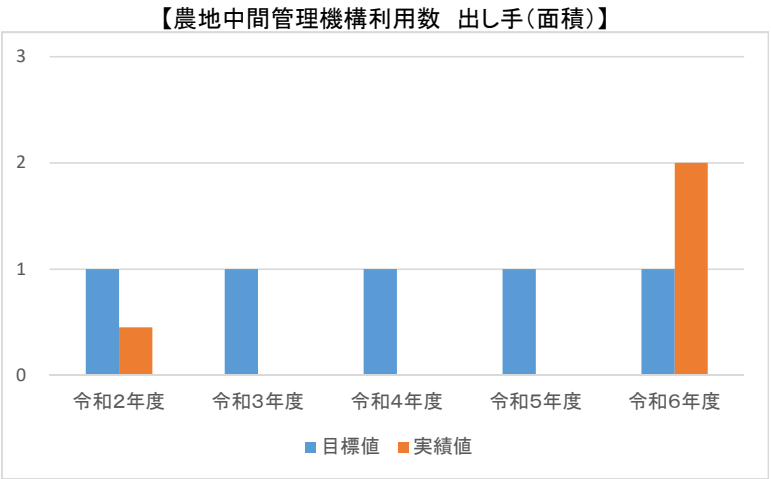


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	農地中間管理機構利用数 出し手(面積)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 出し手(面積)	1	ha	0	ha	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1	1	1	1	1	ha
実績値	0.45	0	0	0	2	ha
目標に対する達成率	45%	0%	0%	0%	200%	単年度目標
基準値に対する増減率	45%	0%	0%	0%	200%	
評価	△	△	△	△	◎	
PLAN:取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	北浦地区灌漑事業整備の条件に農地中間管理事業を活用することとあり、その結果、目標値を超える結果となった。					
CHECK:分析	北浦地区灌漑事業整備の条件であったため、農地中間管理事業を活用したが、それ以外では利用件数がないため、周知等が必要である。 また、令和6年度に法律が改正されたことに伴い、これまで利用権設定で農地の貸借をしていた方が、この農地中間管理事業を今後は活用していくため面積が増加する。					
ACTION:今後の対応	法律改正に伴い、今後は農地中間管理事業が農地貸借の主要事業となるため、県等が作成しているマニュアルを活用し、当事業を利用される方へ細かな説明を行っていく。また、各農業関係の総会時に事業周知を行っていく。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

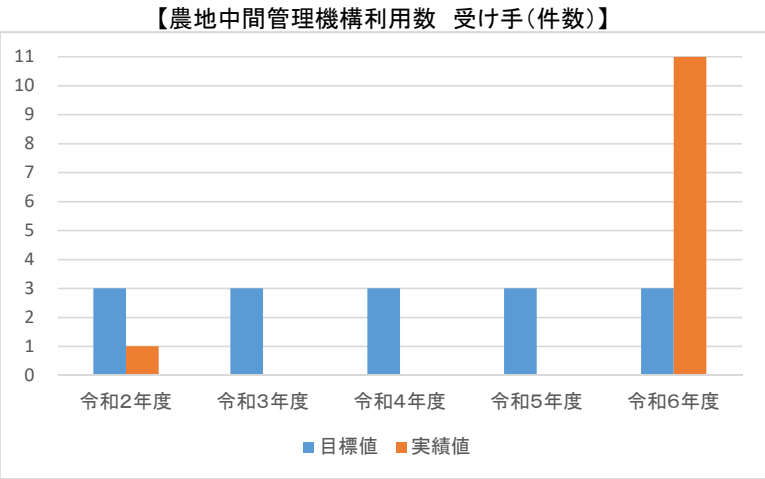


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	農地中間管理機構利用数 受け手(件数)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 受け手(件数)	3	件	0	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	3	3	3	件
実績値	1	0	0	0	11	件
目標に対する達成率	33%	0%	0%	0%	367%	単年度目標
基準値に対する増減率	100%	0%	0%	0%	1100%	
評価	△	△	△	△	◎	
PLAN:取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	北浦地区灌漑事業整備の条件に農地中間管理事業を活用することとあり、その結果、目標値を超える結果となった。					
CHECK:分析	北浦地区灌漑事業整備の条件であったため、農地中間管理事業を活用したが、それ以外では利用件数がないため、周知等が必要である。 また、令和6年度に法律が改正されたことに伴い、これまで利用権設定で農地の貸借をしていた方が、この農地中間管理事業を今後は活用していくため件数が増加する。					
ACTION:今後の対応	法律改正に伴い、今後は農地中間管理事業が農地貸借の主要事業となるため、県等が作成しているマニュアルを活用し、当事業を利用される方へ細かな説明を行っていく。また、各農業関係の総会時に事業周知を行っていく。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

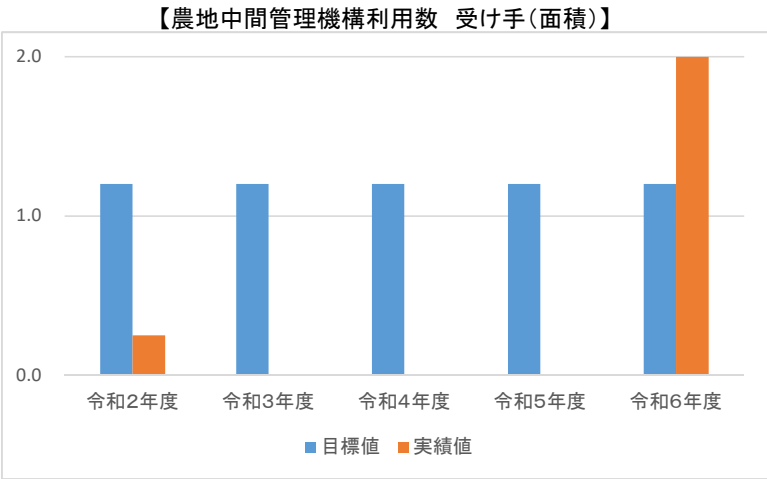


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	農地中間管理機構利用数 受け手(面積)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 受け手(面積)	1.2	ha	0	ha	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	ha
実績値	0.25	0	0	0	2	ha
目標に対する達成率	21%	0%	0%	0%	167%	単年度目標
基準値に対する増減率	25%	0%	0%	0%	200%	
評価	△	△	△	△	◎	
PLAN:取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	北浦地区灌漑事業整備の条件に農地中間管理事業を活用することとあり、その結果、目標値を超える結果となった。					
CHECK:分析	北浦地区灌漑事業整備の条件であったため、農地中間管理事業を活用したが、それ以外では利用件数がないため、周知等が必要である。 また、令和6年度に法律が改正されたことに伴い、これまで利用権設定で農地の貸借をしていた方が、この農地中間管理事業を今後は活用していくため面積が増加する。					
ACTION:今後の対応	法律改正に伴い、今後は農地中間管理事業が農地貸借の主要事業となるため、県等が作成しているマニュアルを活用し、当事業を利用される方へ細かな説明を行っていく。また、各農業関係の総会時に事業周知を行っていく。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

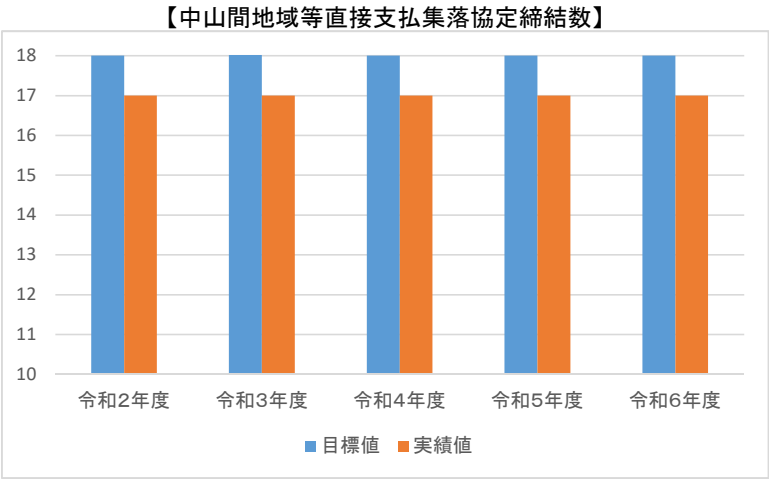


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	中山間地域等直接支払集落協定締結数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★中山間地域等直接支払集落協定締結数		18	集落	20	集落
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	18	19	18	18	18	集落
実績値	17	17	17	17	17	集落
目標に対する達成率	94%	89%	94%	94%	94%	単年度目標
基準値に対する増減率	-15%	-15%	-15%	-15%	-15%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	中山間地域における生産条件に関する不利を補正すると共に農業・農村の有する多面的機能の発揮を維持・促進するため、四期対策で撤退した集落協定を中心に集落活動に対する意向を聴取し、目標達成を目指す。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	各種説明会で制度の説明を行い集落協定数の増加を目指したが新規の集落協定は無く目標値に届かなかった。					
CHECK:分析	条件不利地域における農業生産条件の不利を補正することを目的の一つとして掲げる制度であるが、制度の認知度が低く新規就農者等への周知が足りていない。					
ACTION:今後の対応	説明会で制度の周知を図ることで集落協定数の増加を目指す。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

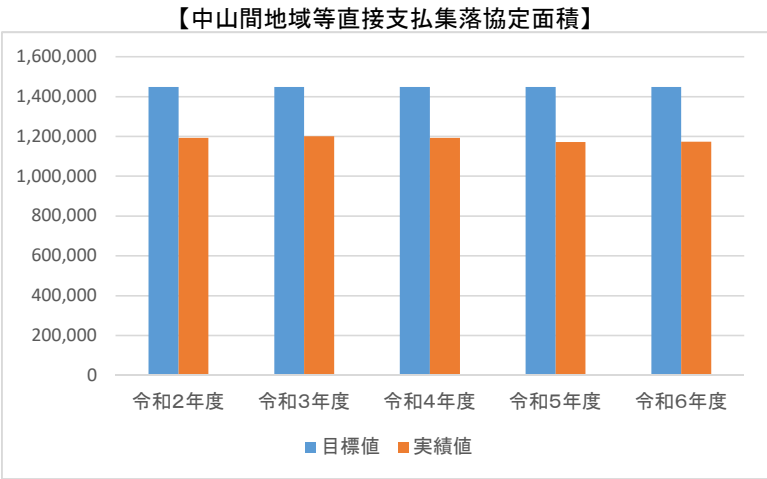


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	中山間地域等直接支払集落協定面積				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★中山間地域等直接支払集落協定面積	1,448,032	m ²	1,520,900	m ²	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1,448,032	1,448,032	1,448,032	1,448,032	1,448,032	m ²
実績値	1,192,587	1,200,200	1,191,922	1,171,760	1,172,022	m ²
目標に対する達成率	82%	83%	82%	81%	81%	単年度目標
基準値に対する増減率	-22%	-21%	-22%	-23%	-23%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	中山間地域における生産条件に関する不利を補正すると共に農業・農村の有する多面的機能の発揮を維持・促進するため、四期対策で撤退した集落協定の農地や担い手を、5期対策の参加協定に取り組み、目標値の達成を目指す。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	高齢化に伴い、農地の保全・管理が不可能になった箇所が発生し面積が減少した。					
CHECK:分析	面積がやや減少したものの原則1期5年は耕作等を行わなければならない制度であることから現状維持に近い数値で留まっている。					
ACTION:今後の対応	今後も各種説明会を通し制度の周知を図ることで集落協定数の増加を目指す。 また、現在の集落協定の地域で耕作等を行う農地を洗い出し面積の増加に努めていく。					

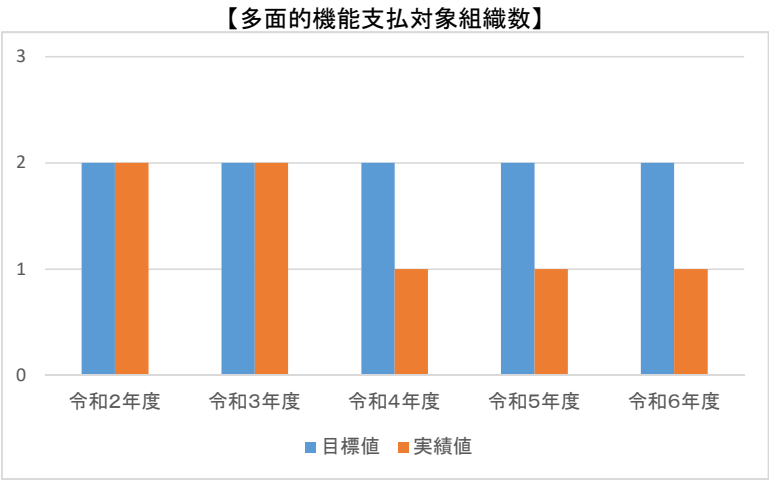
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	多面的機能支払対象組織数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★多面的機能支払対象組織数		2	組織	3	組織
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	2	2	2	組織
実績値	2	2	1	1	1	組織
目標に対する達成率	100%	100%	50%	50%	50%	単年度目標
基準値に対する増減率	-33%	-33%	-67%	-67%	-67%	
評価	○	○	△	△	△	
PLAN:取組内容	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を支援 (多面的機能支払制度)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	1組織が継続して活動を行った。					
CHECK:分析	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を行うことができたものの、活動を行うにあたり地域 リーダーの不在や高齢化が原因となっている。					
ACTION:今後の対応	今後も引き続き、個別の説明会の開催などにより活動組織の増加を図る。 また現在活動している組織の面積、交付金額の増を目指す。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

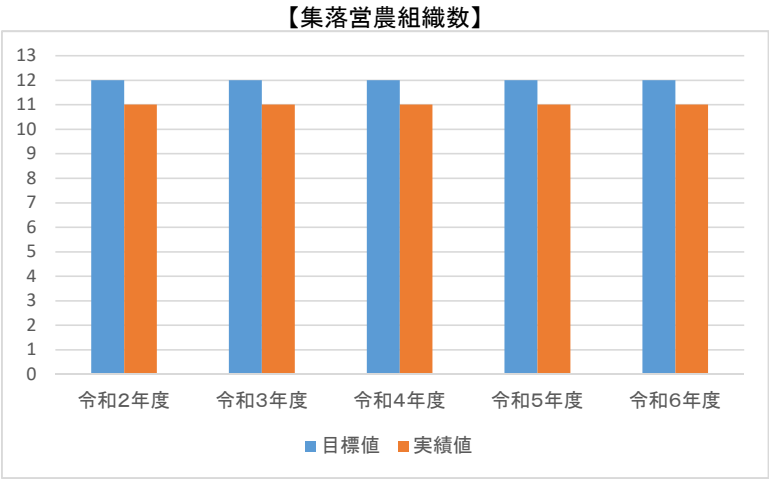


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	集落営農組織数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★集落営農組織数		12	組織	11	組織
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	12	12	12	12	12	組織
実績値	11	11	11	11	11	組織
目標に対する達成率	92%	92%	92%	92%	92%	単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%	0%	0%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN: 取組内容	定例会等に参加し、そこで持ち上がった課題や活動方針に対しサポートを行い、組織の存続に取り組む。 また、県の農業振興センターと協力し、組織発足を希望する集落の掘り起こしを行う。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	1組織解散したが、1組織設立したため組織数は昨年度と同数だった。					
CHECK: 分析	各組織とも高齢化とリーダー不足が課題である。					
ACTION: 今後の対応	今後の担い手である新規就農者や認定農業者等を中心にリーダーの発掘を行う。育成においては補助事業を活用した新規就農者の確保等を県の農業振興センターやJAと連携し行っていく。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

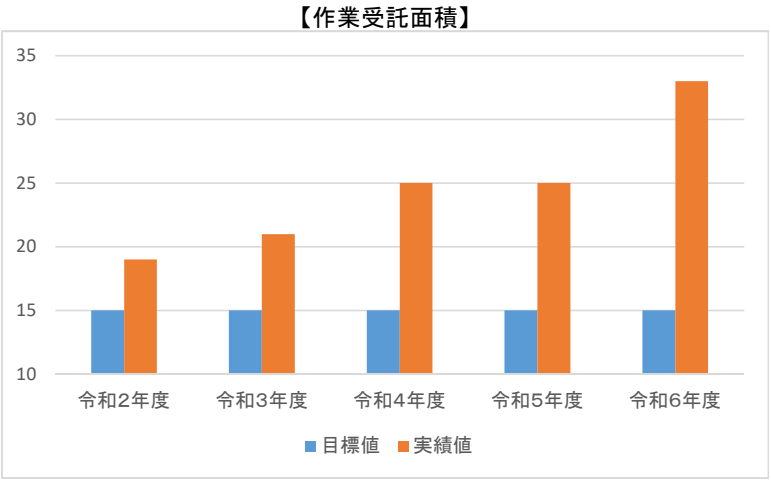


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	作業受託面積				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★作業受託面積	15	ha	15.9	ha	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	15	15	15	15	15	ha
実績値	19	21	25	25	33	ha
目標に対する達成率	127%	140%	167%	167%	220%	単年度目標
基準値に対する増減率	19%	32%	57%	57%	108%	
評価	◎	◎	◎	◎	◎	
PLAN: 取組内容	地域農業の維持及び活性化に向けて集落営農組織等を育成し、併せて農生産の共同活動に取り組む集落営農組織の機械設備等への支援を行うことにより、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	農事組合法人上東で実施されており、令和6年度の農作業受託面積は令和元年度の基準値+108%となる33haとなった。					
CHECK: 分析	水稻三作業(耕起～代掻き、田植え、稲刈)における農作業受託面積は、上東地区集落営農組織の法人設立後、右肩上がりで中山間地の営農を支える基盤となっている。しかし、今後も継続していくためにはオペレーターや担い手の確保が課題となっている。 また、集落営農組織による農作業受託は農家の高齢化等に伴い、需要が増えると考えられるが、全体的に受け皿が不足している。					
ACTION: 今後の対応	地域計画における担い手として、集落営農組織が位置づけられており、農作業受託や農地の集積等に取り組んでいくために農業機械の更新やオペレーターの確保、新規の組織化、法人化を農協、県農業振興センターと連携し支援していく。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

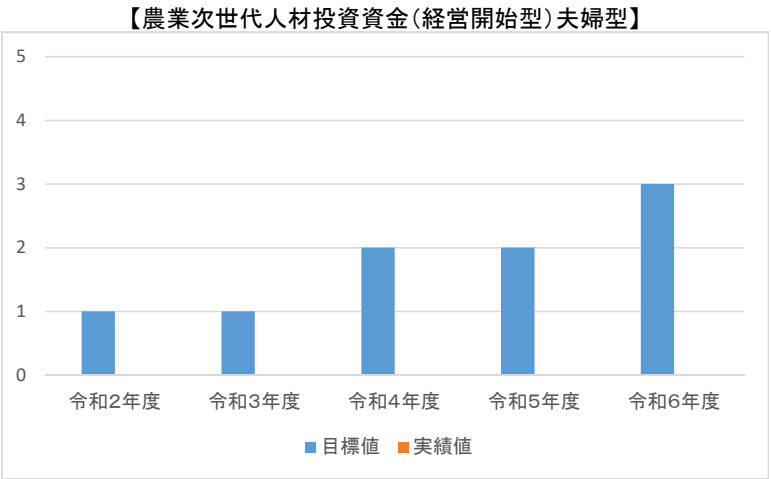


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	農業次世代人材投資資金(経営開始型)夫婦型				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農業次世代人材投資資金(経営開始型)夫婦型	3	組	3	組	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1	1	2	2	3	組
実績値	0	0	0	0	0	組
目標に対する達成率	0%	0%	0%	0%	0%	累計目標
基準値に対する増減率	-100%	-100%	-100%	-100%	-100%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援(新規就農者支援事業)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	夫婦による新規就農者0組					
CHECK:分析	夫婦による新規就農希望者がおらず、制度の要件の対象とならなかった					
ACTION:今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努め、対象者には制度説明を行う。					

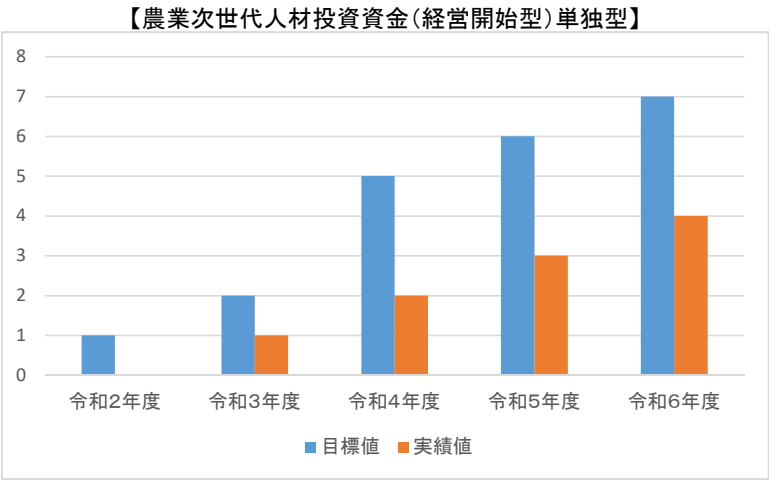
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	農業次世代人材投資資金(経営開始型)単独型				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農業次世代人材投資資金(経営開始型)単独型	7	組	1	組	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1	2	5	6	7	組
実績値	0	1	2	3	4	組
目標に対する達成率	0%	50%	40%	50%	57%	累計目標
基準値に対する増減率	-100%	0%	100%	200%	300%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援(新規就農者支援事業)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	単独により新規就農者1名					
CHECK:分析	農業次世代人材投資事業(準備型)を活用していた研修者が就農し、制度の活用をした					
ACTION:今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努め就農と併せて制度活用に繋げていく					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

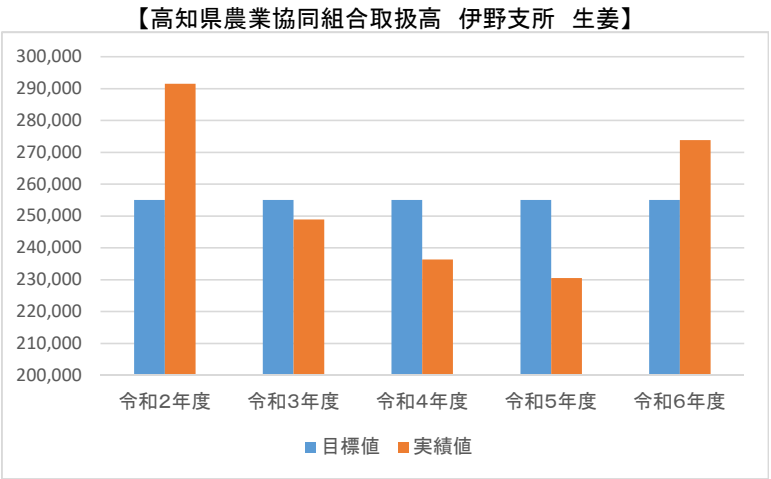


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 生姜				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 生姜	255,000	千円	311,403	千円	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	255,000	255,000	255,000	255,000	255,000	千円
実績値	291,450	248,903	236,361	230,451	273,841	千円
目標に対する達成率	114%	98%	93%	90%	107%	単年度目標
基準値に対する増減率	-6%	-20%	-24%	-26%	-12%	
評価	◎	△	△	△	◎	
PLAN: 取組内容	生姜については、部会での研修会を開催しよりよい栽培方法などを検討し、単価増を図り、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	昨年度は、世界情勢等の影響により、生姜の単価が最低値であったことから目標値を達成できなかった。 今年度は収穫量が例年に比べ少ないにもかかわらず、単価が上昇したため、目標値を上回った。					
CHECK: 分析	価格の上昇が取扱高の増加の要因として考えられる。					
ACTION: 今後の対応	昨年度から、いの町生姜生産研究会を設立し、低コストとなる竹チップを活用した資材の代替や竹堆肥の作成を試験的に進め、取扱高向上に努める。					

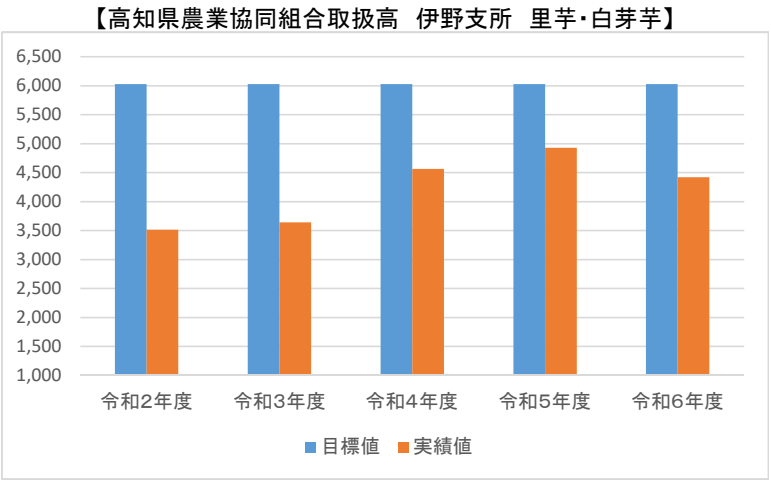
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 里芋・白芽芋				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 里芋・白芽芋	6,028	千円	6,023	千円	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	6,025	6,025	6,025	6,025	6,028	千円
実績値	3,513	3,640	4,561	4,925	4,420	千円
目標に対する達成率	58%	60%	76%	82%	73%	単年度目標
基準値に対する増減率	-42%	-40%	-24%	-18%	-27%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	里芋等については、部会での研修会を開催し新しい販売方法等を検討し、目標達成を目指す。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	目標値を下回った。					
CHECK:分析	栽培面積に大きな変化はなかったものの、気候が影響したことにより取扱高は減少となっている。					
ACTION:今後の対応	今後も栽培講習会や新規栽培者の勧誘など出荷量の向上に努め、生産額の向上を図る。					

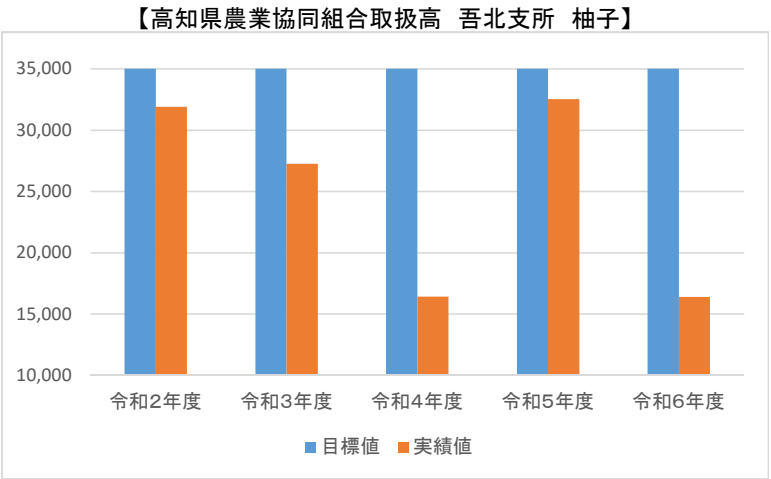
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 柚子				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 柚子		35,000	千円	42,643	千円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	千円
実績値	31,914	27,256	16,407	32,526	16,388	千円
目標に対する達成率	91%	78%	47%	93%	47%	単年度目標
基準値に対する増減率	-25%	-36%	-62%	-24%	-62%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	柚子部会で研修会を開催し、玉出荷を励行することにより、単価増を図り、目標達成を目指す。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	令和3年度:226t、27,256千円 令和4年度:127t、16,407千円 令和5年度:249t、32,526千円 令和6年度:117t、16,388千円					
CHECK:分析	隔年周期の裏年にあたり、全国的にも不作の年であり前年よりも収量が減少したことにより目標値を大幅に下回った。一方高齢化や担い手不足により耕作面積が縮小する傾向にあり、目標達成のためには栽培面積の維持、増加が必要である。					
ACTION:今後の対応	品質の安定や作業負担の軽減のため、県農業振興センターや農協との連携による、トゲの少ない優良系統苗の普及に取り組んでおり、苗木の生産数量も増加しつつあり、更なる普及に努める。また、R5年度末に導入した非接触型AI画像解析選果機により、出荷調整作業の労力が軽減しているため、絞り柚子より高単価の玉出し出荷を推奨し、経営安定を図る。 担い手農地の確保については、半農半Xの推奨など、就農のハードルを下げる広報も行っており、研修、就農に活用する農地の確保に関しても、優良園地の調査を行いすぐに就農できる環境整備も併せて行っていく。					

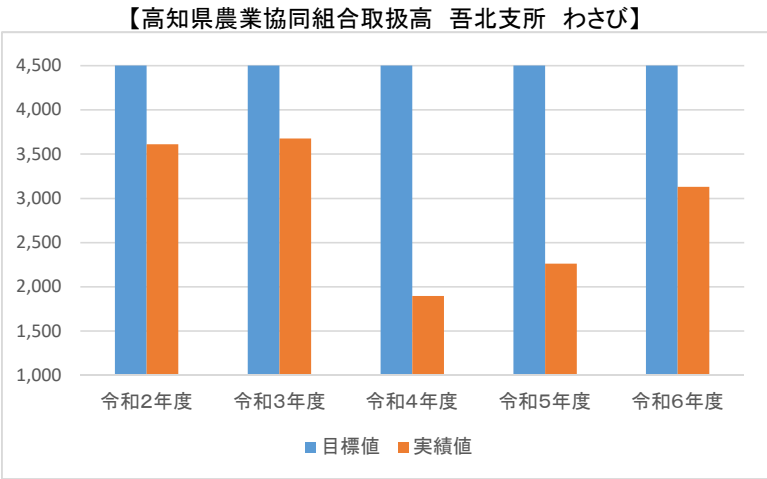
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 わさび				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 わさび	4,500	千円	3,909	千円	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	千円
実績値	3,610	3,674	1,895	2,261	3,130	千円
目標に対する達成率	80%	82%	42%	50%	70%	単年度目標
基準値に対する増減率	-8%	-6%	-52%	-42%	-20%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN: 取組内容	新規栽培者の開拓を提案型担い手確保対策とも絡めて行い、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和3年度: 13,283kg、3,674千円 令和4年度: 6,893kg、1,895千円 令和5年度: 7,861kg、2,261千円 令和6年度: 9,774kg、3,130千円					
CHECK: 分析	品質の良い種が提供されたことにより、発芽率が上昇し、補植の手間が減少した。省力化により、栽培管理が安定したため、生産量が上昇したことと、販売単価が上昇したため実績値が増加した。耕作に必要な栽培環境や設備への初期投資が負担となる課題はあるが、目標達成のためには新規栽培者の確保・栽培面積の拡大を図ることが必要である。					
ACTION: 今後の対応	優良な品種の種の選定、適正な育苗はもちろんだが、温度管理や日光の管理など環境に左右される部分も大きいため、適正な栽培管理の普及などにも取り組んでいく必要がある。新規栽培者の確保については、他の園芸作物からの転換なども視野に入れて可能性を探る。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	本川きじの販売額				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
本川産業建設課	★本川きじの販売額		32,927	千円	14,859	千円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	32,927	32,927	32,927	32,927	32,927	千円
実績値	14,210	12,969	14,936	18,284	21,322	千円
目標に対する達成率	43%	39%	45%	56%	65%	単年度目標
基準値に対する増減率	-4%	-13%	1%	23%	43%	
評価		△	△	△	△	
PLAN: 取組内容	いの町本川地区の特産品である「本川きじ」の販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品の開発に取り組み、中山間地域の基幹産業として定着させる。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	〈営業力強化による販路拡大〉 本川手箱きじを地区の特産品として定着させ、認知度を向上させるため、県内イベントへの出店や県内他産地と連携しPRを行った。 令和6年度は千葉市幕張で開催されたスーパーマーケットトレードショーに初出展し、新規取引先の獲得につながった。 〈安定した生産体制の確保〉 年度間で5回の定例会を開催し、生産から販売までの関係者が現状や取り組みの方向性を検討、共有した。 家畜衛生保健所による検卵及び受精率等の向上に関する指導を受け、受精率や羽化率など生産効率の向上を図った。					
CHECK: 分析	[評価] 商談への積極的な参加や、イベントへの出店等地道な取り組みを続け売上は上昇に転じてきている。 令和6年度は愛媛県鬼北町のキジの出荷停止による代替需要が増加したが、一時的なものである。 [課題] 県外を中心とした業務需要向けの販路開拓が必要である。 食材としてのきじの認知度は低く、本川地区の特産品としても定着していない。					
ACTION: 今後の対応	〈営業力の強化による販路拡大〉 定例会の開催 県商談会への参加 首都圏で開催される展示会出展などによる新規取引先の開拓 きじ認知度向上のためのイベント出店及び情報発信の強化 既存取引先への営業強化 新商品の開発					

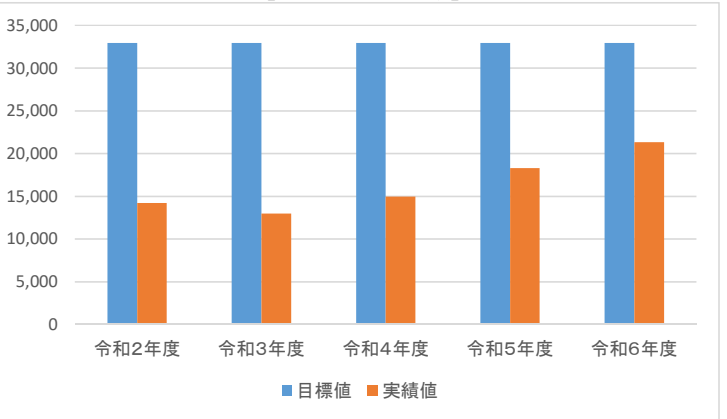
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【本川きじの販売額】

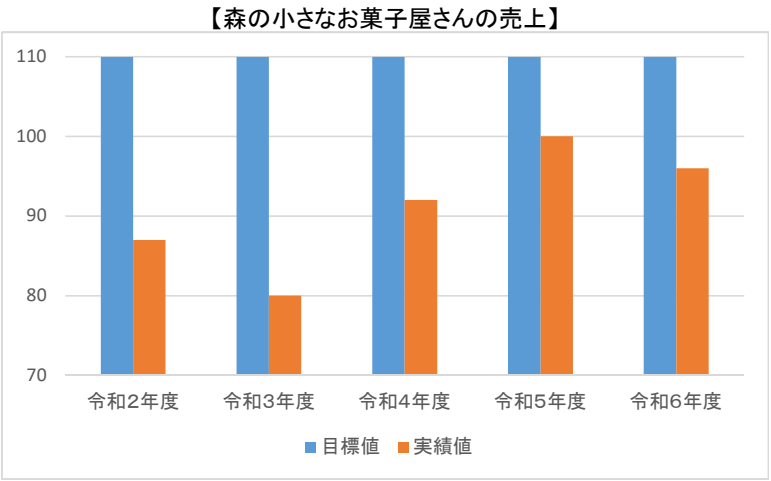


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	森の小さなお菓子屋さんの売上				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★森の小さなお菓子屋さんの売上	110	%	100	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	110	110	110	110	110	%
実績値	87	80	92	100	96	%
目標に対する達成率	79%	73%	84%	91%	87%	単年度目標
基準値に対する増減率	-13%	-20%	-8%	0%	-4%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN: 取組内容	新商品の開発や既存商品の見直し、SNSによる情報発信により、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和元年度売上: 11,348千円 令和2年度売上: 9,929千円 令和3年度売上: 9,060千円 令和4年度売上: 10,479千円 令和5年度売上: 11,322千円 令和6年度売上: 10,893千円					
CHECK: 分析	町内の季節の農産物を使用した新商品の開発及び販売、SNSを利用し情報の周知を行い集客につなげた。 原材料費の価格高騰による商品の値上げや比較的安価なコンビニスイーツの普及によりお菓子屋さんの顧客が減り売上が下がった。					
ACTION: 今後の対応	新商品の開発やSNSによる情報発信を継続、ウェディングケーキの対応などで新たな顧客の取り込みを狙い売上増を目指す。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

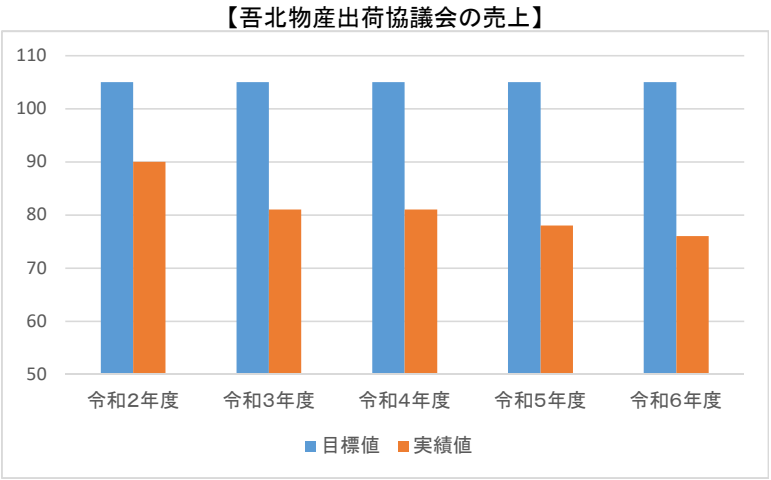


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	吾北物産出荷協議会の売上				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★吾北物産出荷協議会の売上	105	%	100	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	105	105	105	105	105	%
実績値	90	81	81	78	76	%
目標に対する達成率	-14%	77%	77%	74%	72%	単年度目標
基準値に対する増減率	-10%	-19%	-19%	-22%	-24%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	県農業振興センター、JA高知県吾北支所等関係機関の指導のもと、道の駅633美の里の売上が落ち込む冬季に販売(栽培)可能な有望品目を検討する。 また、吾北地区で就農を希望する就農前後の青年新規就農者に対しての補助、JA・県・町等の関係機関の連携によるサポートにより、地区の担い手を確保する。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	令和元年度売上:66,674千円 令和2年度売上:60,029千円 令和3年度売上:51,792千円 令和4年度売上:54,086千円 令和5年度売上:52,667千円 令和6年度売上:50,442千円					
CHECK:分析	高齢化による出荷者の出荷意欲の減退や、出荷者数の減少により出荷数量・販売数量も減少している。 バスツアーの減少や寒波の影響もあり、下半期の販売額は前年度比92.3%、約431万円の売上額減となり、実績値は76%となった。					
ACTION:今後の対応	POSシステムを活用するなど、出荷者に対して分かりやすい情報提供を行う。 また、吾北地区で就農を希望する就農前後の青年新規就農者に対しての補助、JA・県・町等の関係機関の連携によるサポートを引き続き行い、地区の担い手を確保するなど、新しい出荷者の確保を目指す。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

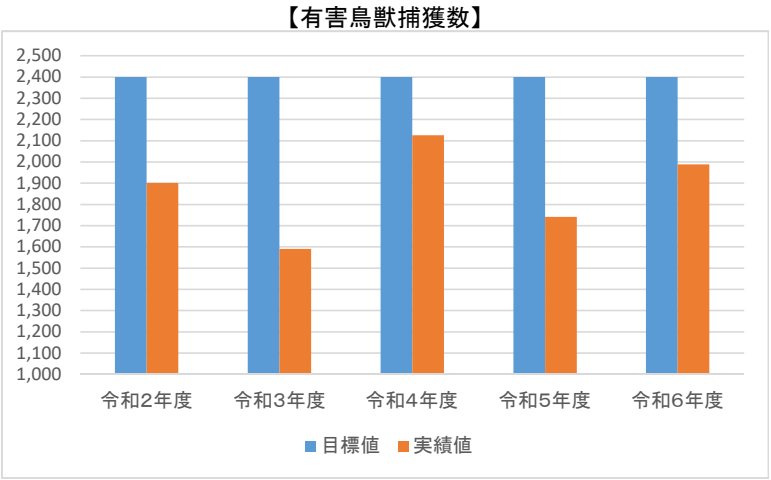


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	人口減少に伴い、出荷者数が減っている背景も今後の計画に盛り込み、現実的な数値目標を見据えて、右肩上がりの目標値が良いものなのか、議論していくべき。
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	有害鳥獣捕獲数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★有害鳥獣捕獲数		2,400	頭(羽)	2,156	頭(羽)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	頭(羽)
実績値	1,900	1,590	2,125	1,740	1,988	頭(羽)
目標に対する達成率	79%	66%	89%	73%	83%	単年度目標
基準値に対する増減率	-12%	-26%	-1%	-19%	-8%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN: 取組内容	野生鳥獣による農林作物の被害対策として、対象有害鳥獣の捕獲に交付金・報償金を交付する。 (鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業・有害鳥獣捕獲に関する報償金)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	イノシシ666頭、ニホンザル148頭、カラス487羽、シカ402頭、ハクビシン145頭、アナグマ34頭、タヌキ106頭を捕獲した。前年比率約114%と増加したが、目標値は下回った。					
CHECK: 分析	前年度より捕獲数が増加したのは狩猟期におけるイノシシの報償金設定の影響があると思われる。目標値を下回った要因としては、捕獲者の高齢化や人材の減少、豚熱の流行があげられる。					
ACTION: 今後の対応	令和6年度は猟友会長や地区担当者と連絡をとり、被害対策協議会や猟友会会員を集めての協議を行い周知活動を行った。今後も継続して捕獲する人材の確保、周知に努める。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

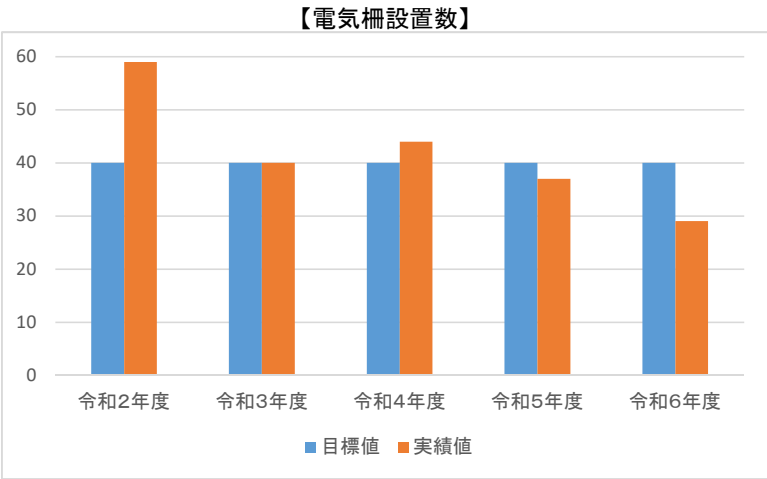


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	電気柵設置数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★電気柵設置数		40	件	46	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	40	40	40	40	40	件
実績値	59	40	44	37	29	件
目標に対する達成率	148%	100%	110%	93%	73%	単年度目標
基準値に対する増減率	28%	-13%	-4%	-20%	-37%	
評価	◎	○	◎	△	△	
PLAN: 取組内容	農業者等、または狩猟者等が被害防止のためのトタン・電気柵等及び有害鳥獣の捕獲に必要な檻の購入費を補助(鳥獣被害緊急対策事業、鳥獣被害対策支援総合補助金)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	前年度比97%となり、目標も未達成だった。					
CHECK: 分析	口頭・広報による周知が不十分だったと思われる。					
ACTION: 今後の対応	高知県農業協同組合に相談して、いの町広報以外からも農業従事者へ電気柵設置の周知をするようにし電気柵補助金の普及に努める。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

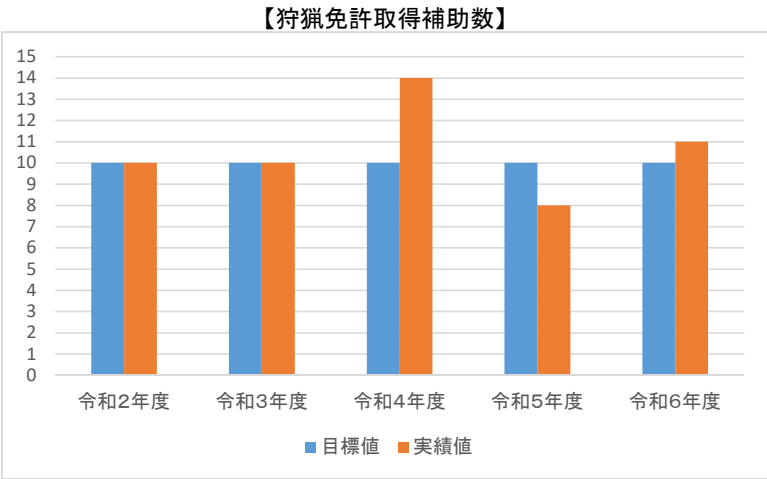


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	狩猟免許取得補助数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課・本川産業建設課	★狩猟免許取得補助数	10	件	8	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	10	10	10	10	10	件
実績値	10	10	14	8	11	件
目標に対する達成率	100%	100%	140%	80%	110%	単年度目標
基準値に対する増減率	25%	25%	75%	0%	38%	
評価	○	○	◎	△	◎	
PLAN:取組内容	農林水産物被害対策として、鳥獣を捕獲するために必要な狩猟免許の取得経費を補助(狩猟免許取得補助金)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	伊野地区6件、吾北地区3件、本川地区2件、合計11件で目標値を上回った。					
CHECK:分析	ポスター掲示や広報による周知により、目標値を達成したと思われる。					
ACTION:今後の対応	引き続き広報等を活用し、事業周知に努める。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

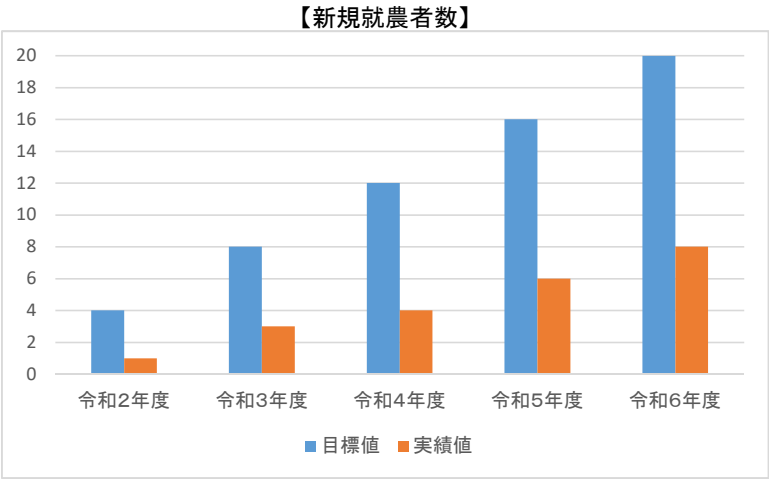
効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 23・36

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	担い手等の確保・育成				
項目	★	新規就農者数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★新規就農者数	20	人	2	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	4	8	12	16	20	人
実績値	1	3	4	6	8	人
目標に対する達成率	25%	38%	33%	38%	40%	
基準値に対する増減率	-50%	50%	100%	200%	300%	累計目標
評価	△	△	△	△	△	
PLAN: 取組内容	新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援(新規就農者支援事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	伊野地区で2名が就農した。					
CHECK: 分析	国庫補助、及び県補助を活用して研修を行っていた研修生が独立就農した。					
ACTION: 今後の対応	他の就農希望者がいないか情報収集に努め、希望者には支援制度を活用できるようサポートしていく。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

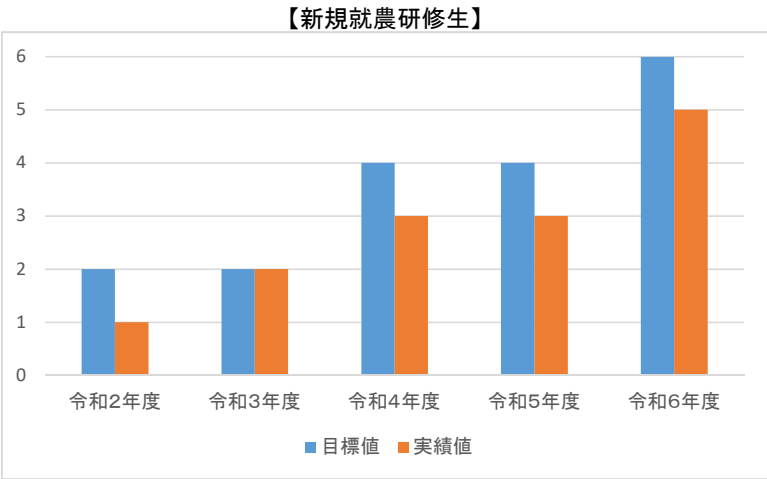
効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 24・37

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	担い手等の確保・育成				
項目	★	新規就農研修生				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★新規就農研修生	6	人	2	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	4	4	6	人
実績値	1	2	3	3	5	人
目標に対する達成率	50%	100%	75%	75%	83%	累計目標
基準値に対する増減率	-50%	0%	50%	50%	150%	
評価	△	○	△	△	△	
PLAN:取組内容	新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援 ((公財)いの町農業公社研修事業等) 研修手当、資金の交付(農業次世代人材投資事業等)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	(公財)いの町農業公社と、JAコスモスまるい生姜部会において、担い手確保対策として取り組んだ結果、2名の農業研修生を確保した。					
CHECK:分析	農業公社のホームページや、高知県農業会議が発行しているチラシなどで就農希望者を募ったが2名にとどまった。					
ACTION:今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努めるとともに、さらなる周知を行い研修生の確保に努める。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

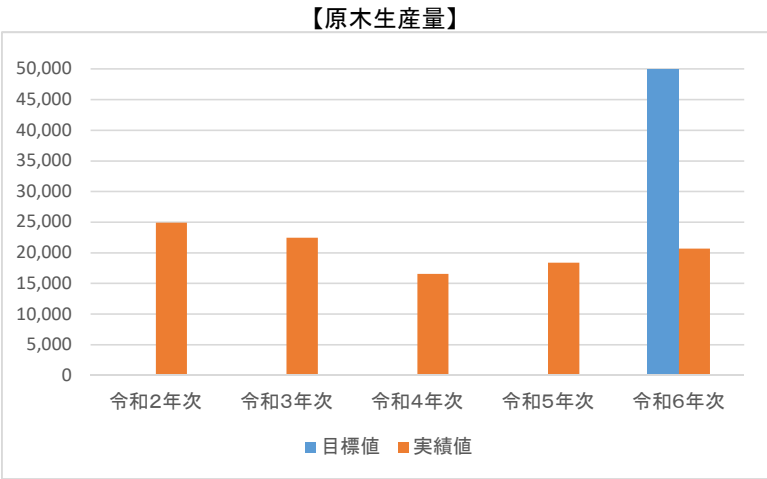


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	イ 林業の振興					
	① 林業の成長産業化					
項目	★ 原木生産量					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成30年次	
	令和6年度				実績等	
森林政策課	★原木生産量		50,000	m³以上	35,346	m³以上
	令和2年次	令和3年次	令和4年次	令和5年次	令和6年次	単位
目標値	-	-	-	暫定 18,381	50,000	m³以上
実績値	24,876	22,458	16,524		暫定 20,656	m³
目標に対する達成率	50%	45%	33%	37%	41%	単年度目標
基準値に対する増減率	-30%	-36%	-53%	-48%	-42%	
評価	評価なし	評価なし	評価なし	評価なし	△	
PLAN:取組内容	町産材の安定供給体制の構築(森林(もり)づくり交付金事業、「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業、「吉野川」水源の森整備事業等)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業:搬出間伐A=1.91ha(V=219m³)、森林作業道開設L=2,504m 「吉野川」水源の森整備事業:搬出間伐A=3.61ha(V=319m³)、森林作業道開設L=1,636m 森林整備緊急対策支援事業:搬出間伐A=0ha(V=0m³)、森林作業道開設L=0m、高性能林業機械導入 1台 森林資源循環利用促進事業:皆伐A=17.11ha(V=8,008m³) 森林(もり)づくり交付金事業:森林作業道開設L=0m					
CHECK:分析	皆伐施業地が多かったことから、原木生産量は前年度に比較して増加したが、目標値を達成するためには林道路網の早期整備及び林業従事者の確保・育成など、包括的な支援の継続が欠かせない。					
ACTION:今後の対応	林業事業体の原木生産基盤の充実にに向けた支援を継続的に実施する。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

26

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	イ	林業の振興				
	①	林業の成長産業化				
項目	★	林道整備(開設)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和2年度	
	令和6年度				実績等	
土木課・吾北建設課・本川産業建設課	★林道整備(開設)	4,000	m	1,171	m	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1,400	1,900	2,600	3,200	4,000	m
実績値	1,171	2,109	2,987	3,843	4,928	m
目標に対する達成率	84%	111%	115%	120%	123%	
基準値に対する増減率	0%	80%	155%	228%	321%	累計目標
評価	△	◎	◎	◎	◎	
PLAN: 取組内容	造林、保育、間伐等の適切な森林管理の推進や森林整備の低コスト化を図るとともに、木材の安定供給や更なる原木増産を実現するための路網整備					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和5年度 森林基幹道開設事業(林道土居柳野線【3工区】開設工事) L=170m 森林基幹道開設事業(林道土居柳野線【4工区】開設工事) L=151m 森林基幹道開設事業(林道越裏門大森線【1工区】開設工事) L=329m 森林基幹道開設事業(林道越裏門大森線【2工区】開設工事) L=106m 森林環境保全整備事業(林業専用道葛原山線開設工事) L=100m 令和6年度 森林基幹道開設事業(林道土居柳野線【1工区】開設工事) L=40m 森林基幹道開設事業(林道土居柳野線【2工区】開設工事) L=50m 森林基幹道開設事業(林道土居柳野線【3工区】開設工事) L=30m 森林基幹道開設事業(林道越裏門大森線【4工区】開設工事) L=7m 森林基幹道開設事業(林道名の谷中野川線開設工事) L=10m 森林環境保全整備事業(林業専用道葛原山線開設工事) L=92m					
CHECK: 分析	着実な林内路網整備を実現し、目標としている開設延長は達成できた。					
ACTION: 今後の対応	適正な森林管理や木材の安定供給など森林資源を有効に活用するため、新たな林内路網整備を計画するなど、更なる林業振興の発展に向けて路網整備の促進を図る。					

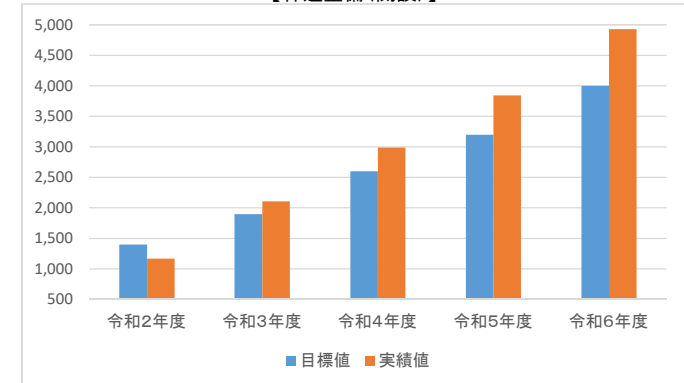
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【林道整備(開設)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ウ	ものづくりや地元産業の振興				
	①	企業立地・新規創業の推進・支援				
項目	★	新規立地件数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★新規立地件数	1	件	1	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	1	件
実績値	0	0	0	0	0	件
目標に対する達成率	-	-	-	-	0%	累計目標
基準値に対する増減率	-100%	-100%	-100%	-100%	-100%	
評価	評価なし	評価なし	評価なし	評価なし	△	
PLAN: 取組内容	企業立地の取組					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和6年度は事務所・工場等の新設は無かった。 廃業した工場用地について、企業立地に向けた事前質問等の問い合わせが数件あった。					
CHECK: 分析	企業立地に向けた、事前質問等の問い合わせが数件あった。					
ACTION: 今後の対応	県や商工会と連携しながら、個々に応じた創業支援を実施し、継続して企業立地の働きかけを推進する。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

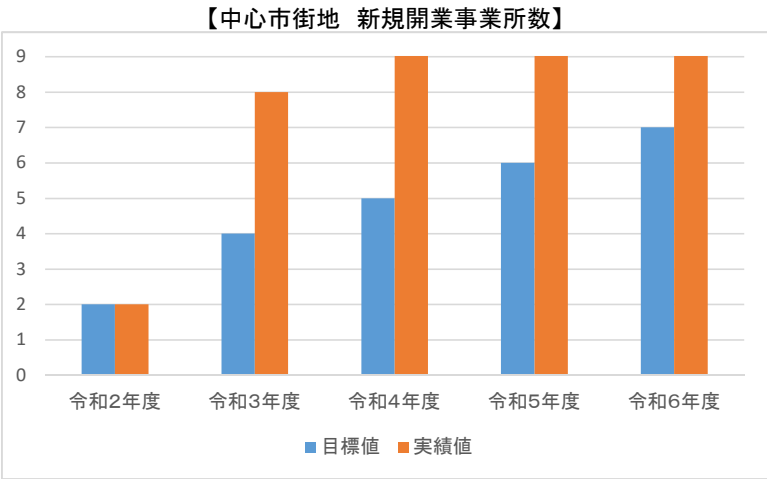


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	ターゲットをどのように考えているのか。 →町では高知西バイパスインターチェンジから1km圏内で企業誘致に対する規制緩和をおこなっている。 職種は、製造業・運輸業・卸売業をターゲットにしている。
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ウ	ものづくりや地元産業の振興				
	①	企業立地・新規創業の推進・支援				
項目	★	中心市街地 新規開業事業所数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★中心市街地 新規開業事業所数		7	事業所	7	事業所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	4	5	6	7	事業所
実績値	2	8	12	14	17	事業所
目標に対する達成率	100%	200%	240%	233%	243%	
基準値に対する増減率	-71%	14%	71%	100%	143%	累計目標
評価	○	◎	◎	◎	◎	
PLAN:取組内容	■ 企業立地の取組（いの町産業振興奨励金）等 ■ いの町空き店舗対策家賃補助助成事業（創業支援事業） ■ 第2期いの町中心市街地活性化計画を策定（R4.12月）					
DO:実績 （事業内容等を記載）	いの町産業振興奨励金（高知食糧株式会社）を実施した。 いの町空き店舗対策家賃補助助成事業 4件：廣福堂（雑貨）、カラアゲ推し鶏（飲食）、ライアンズキッチン（飲食）、（株）好日（児童福祉施設）を実施した。 新規開業 3件：シェルパ（（株）好日）（児童福祉施設）、ヤイロドーナツ（飲食）、和耕肉店（小売）※新事業主による開業					
CHECK:分析	近年は安定した新規出店がある。同エリアの店舗数の推移は、H27・77店舗、R1・73店舗、R4・74店舗、R6・76店舗となっており、廃業する事業者もいる中、店舗数は一定維持されている。また、中心市街地活性化事業などでイベントを実施し、商店街は交流の場や集客の役割を担っている。 毎年一定の新規出店の相談があるが、利用可能な空き店舗が少なく、出店支援が行き届いているとは言い難い。 中心市街地で開催されるイベント等には、同エリアの事業者への積極的な参加を呼びかけ、店舗の認知度・売上げ向上を促した。					
ACTION:今後の対応	使える空き店舗数を増やすため、れんけいこうちや商工会等と連携して情報収集や情報発信力を向上させる。 商工会等と連携し、新規開業した事業者にも、中心市街地で開催されるイベント等へ積極的に参加してもらい、店舗の認知等を促す。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

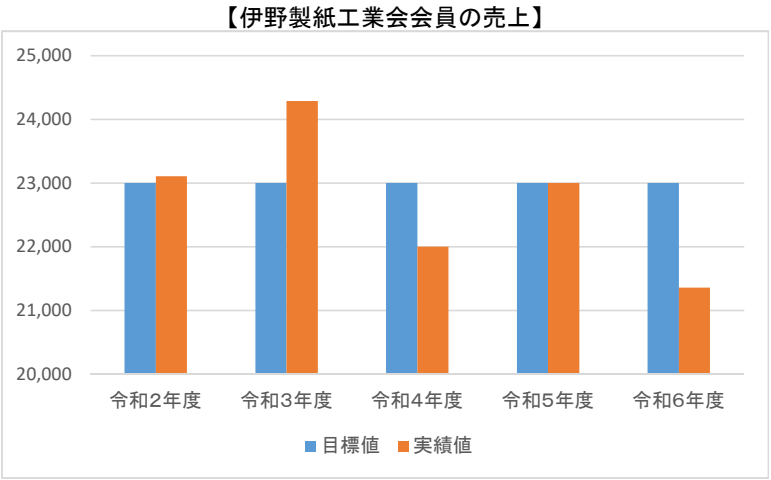


推進委員会による検証評価（意見等）

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ウ	ものづくりや地元産業の振興				
	②	紙産業の振興				
項目	★	伊野製紙工業会会員の売上				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★伊野製紙工業会会員の売上	23,000	百万円	23,319	百万円	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	百万円
実績値	23,108	24,290	22,000	23,000	21,358	百万円
目標に対する達成率	100%	106%	96%	100%	93%	単年度目標
基準値に対する増減率	-1%	4%	-6%	-1%	-8%	
評価	◎	◎	△	○	△	
PLAN:取組内容	紙産業の振興 伊野製紙工業会会員の売上					
DO:実績 (事業内容等を記載)	令和6年度 15社 ※うち、町内13社について 年間売上総額 214億円(推計値)					
CHECK:分析	燃料価格や物価高騰による厳しい経営状況の中、支援制度等を活用しながら、コストの削減、マーケティングによる業態の変化、商品の付加価値の増加等によって収益の確保に努めている。					
ACTION:今後の対応	商品の開発研究、生産技術の向上、生産設備の導入の促進等を行い、安定した生産ラインの確保・販路の拡大を図ることで売上増を目指す。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

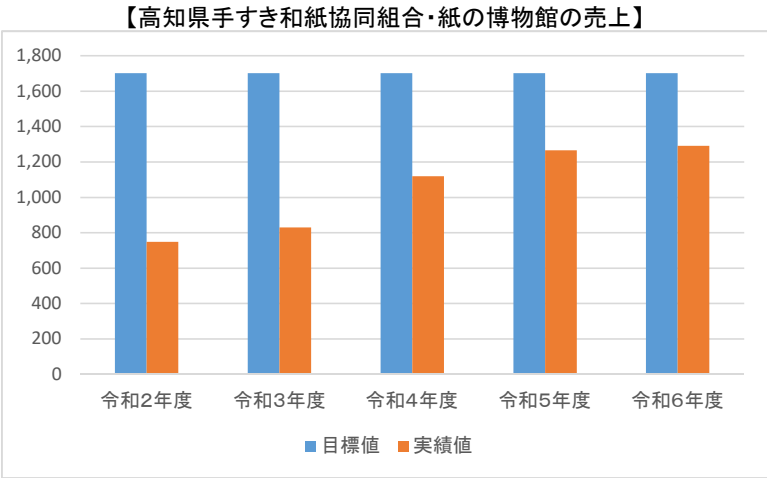


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	経営的には非常に厳しく、修繕もままならない状態になっている。中小企業に対する補助を検討していただけると商品展開ができるという声もある。
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ウ ものづくりや地元産業の振興					
	② 紙産業の振興					
項目	★ 高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★ 高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上		1,700	万円	906	万円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	万円
実績値	747	829	1,118	1,265	1,290	万円
目標に対する達成率	44%	49%	66%	74%	76%	単年度目標
基準値に対する増減率	-18%	-8%	23%	40%	42%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN: 取組内容	紙産業の振興 紙の博物館(販売コーナー)の売上					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和6年度 紙の博物館販売コーナー売上12,902,181円(前年比△251,256円)					
CHECK: 分析	開催する展示会の内容により入場者に影響がある。 常設展の入れ替えができないため、反復来館者を呼び込むことが難しい。					
ACTION: 今後の対応	令和2年4月より、紙の博物館販売コーナー運営が手すき和紙協同組合への委託から町の直営となった。ディスプレイやポップ表示の変更など、魅力的な売り場づくりに引き続き努める。 販売コーナーのみの利用は無料で入場できることをPRし、販売コーナー利用増に努め、売り上げ増を目指す。 なお、令和8年度に館内展示の改装、改修を行うこととしている。					

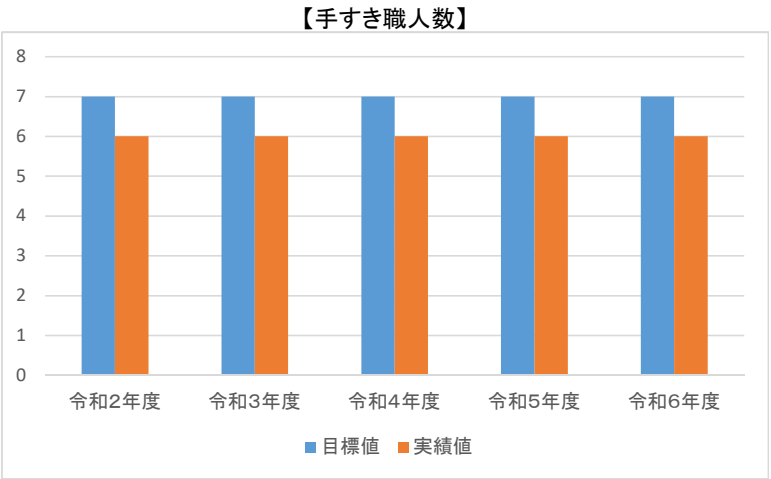
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ウ	ものづくりや地元産業の振興				
	②	紙産業の振興				
項目	★	手すき職人数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★手すき職人数		7	人	6	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	7	7	7	7	7	人
実績値	6	6	6	6	6	人
目標に対する達成率	86%	86%	86%	86%	86%	単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%	0%	0%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	紙産業の振興 手すき職人数					
DO:実績 (事業内容等を記載)	○高知県手すき和紙協同組合員 6名(田村晴彦、尾崎伸安、田村亮二、田村寛、浜田兄弟和紙製作所、友草喜美枝) ○組合員以外の手漉き職人 2名(尾崎清貴・北岡辰之)					
CHECK:分析	組合員から、後継者育成について相談を受け、次年度研修生1名の受け入れを行い、複数講師からの短期・長期研修が実施できるよう居住地の確保や研修内容について協議した。 令和2年度末で長期研修を終了した研修生が、親元の工房や土佐和紙工芸村和紙体験実習館で経験を積みながら土佐和紙振興に関わっている。 土佐和紙振興事業委託業務を高知県、土佐市と共同で実施した。土佐和紙デザイン＆アイディアコンテストが開催され、受賞者と希望する学生を対象に、鹿敷製紙株式会社で産地留学を実施し、職人を目指す若者や後継者を増やすための活動を行った。					
ACTION:今後の対応	高齢化等により町内の手すき和紙協同組合員は減少しているため、職人や後継者を増やす活動が必要。 後継者育成事業を実施し、複数講師からの短期・長期研修を実施することで、和紙づくりに感心のある層との交流ルートやマッチング、関係性を構築し、後継者育成に繋げていく。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	エ 地産地消の徹底					
項目	★ 直販店の販売額					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課・本川産業建設課	★直販店の販売額		27,270	万円	25,110	万円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	27,270	27,270	27,270	27,270	27,270	万円
実績値	25,400	25,687	26,453	23,135	24,018	万円
目標に対する達成率	93%	94%	97%	85%	88%	単年度目標
基準値に対する増減率	1%	2%	5%	-8%	-4%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN: 取組内容	新規部員の獲得や、直販部員によるイベントの実施、他主催のイベントへ参加し集客および知名度向上に努めた。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	紙博直販所 1,223 JAコスモス伊野直販所 2,184 レストパークいの 8,524 工芸村特産センター 1,098 水辺の駅あいの里仁淀川直販所 1,212 ふれあいの里柳野 58 道の駅633美の里物産館 5,044 いの町本川直販所 475 伊野町農産物直販所 4,200 合計 24,018					
CHECK: 分析	天候不順や生産者の高齢化などの影響により、出品数が減少した。このことから、目標を達成出来なかったと考えられる。					
ACTION: 今後の対応	今後は新規就農者の販路拡大等も踏まえて、直販所への出品数の増加へ繋げる。					

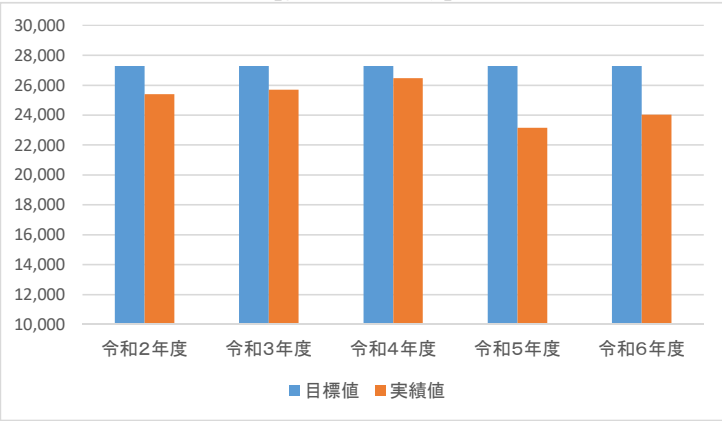
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【直販店の販売額】



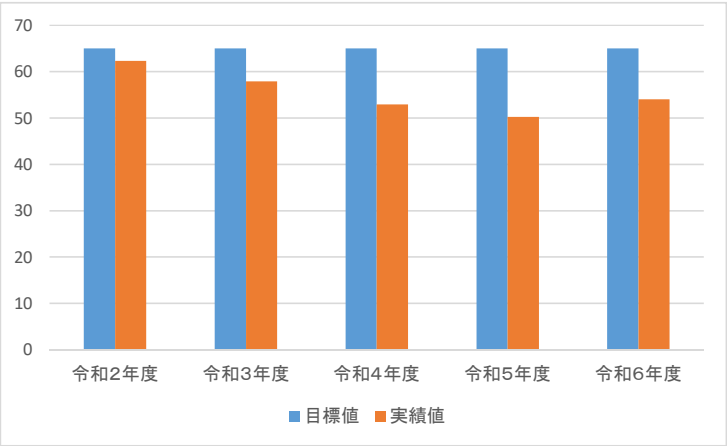
推進委員会による検証評価(意見等)

意見	(事務局より) R5年度の計上誤りがあり、実績値、評価を修正。 実績値: 39,078千円→23,135千円 評価: ◎→△ 要因: レストパークいのの計上誤りのため
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	エ	地産地消の徹底				
項目	★	学校給食の食材における地場産物の活用割合(令和3年度から金額ベースに変更)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★学校給食の食材における地場産物の活用割合(令和3年度から金額ベースに変更)	65	%	72.8	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	65	65	65	65	65	%
実績値	62	58	53	50	54	%
目標に対する達成率	96%	89%	81%	77%	83%	単年度目標
基準値に対する増減率	-14%	-20%	-27%	-31%	-26%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	学校、認定こども園、保育園の給食食材における県内産品の活用割合(令和2年度は重量ベース、令和3年度から金額ベースに変更になった。)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	上記実績のとおり。(保育園・認定こども園 59.8%(R6.6月調査)、学校 46.5%(R6.11月調査))					
CHECK:分析	令和5年度に比べて保育園・こども園、学校給食ともに活用割合は増加している。 納入業者には地場産物を優先して納品してもらうよう依頼を続けているが、天候不良で納品できないこともあり、目標値には到達できなかった。 ※地域食材の使用状況調査ではあるが、いの町産ではなく、高知県産の調査となる。					
ACTION:今後の対応	各納入業者には続けて、いの町産や県内産を優先して取引してもらうようお願いをする。 また、納品できるいの町産の食材を地元の納入業者等に問い合わせ、その食材を使った献立を組み立てたりしながら、地場産物の利用を増やしていく。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

【学校給食の食材における地場産物の活用割合(令和3年度から金額ベースに変更)】

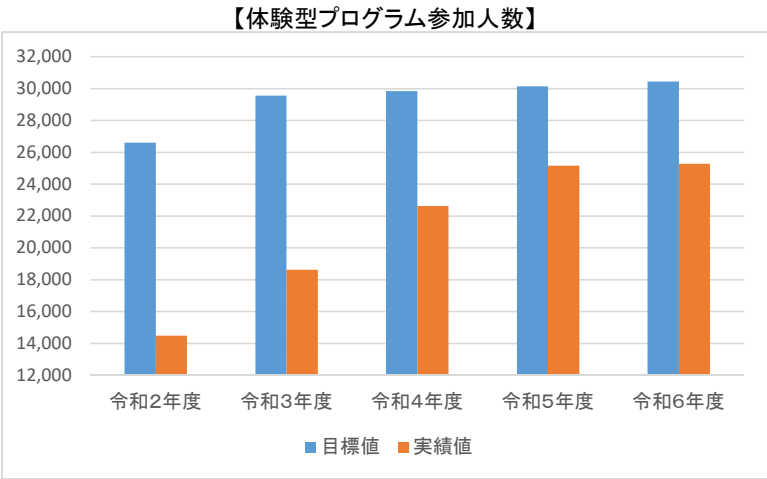


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(2)	外商の強化を図る				
具体的な施策	ア	観光振興				
	①	魅力ある新メニューの開発強化				
項目	★	体験型プログラム参加人数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★体験型プログラム参加人数		30,440	人	28,428	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	26,599	29,546	29,841	30,139	30,440	人
実績値	14,489	18,612	22,629	25,144	25,272	人
目標に対する達成率	54%	63%	76%	83%	83%	単年度目標
基準値に対する増減率	-49%	-35%	-20%	-12%	-11%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	■「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 仁淀ブルーを活用したDMO観光地域づくりの連携事業 ■石鎚山系の広域観光推進 (株)ソラヤマいしづちとの連携事業 ■れんけいこうち広域観光推進事業					
DO:実績 (事業内容等を記載)	入込客数報告人数:25,124人 仁淀ブルー体験博での町内プログラム参加者:148人 土佐和紙工芸村滞在型観光施設改修工事:施設の機能向上・環境整備を図るための改修工事 (事業費:139,355,000円)					
CHECK:分析	高知県が主催する「どっぷり高知旅」キャンペーンや連続テレビ小説「らんまん」の影響も引き続きあり、前年度と比較して収入は約11.2%増加した。 仁淀ブルー体験博では、町内外からの参加者も多く、流域全体で観光資源の高付加価値化を目指してプログラムの造成を行い、新規顧客の獲得や町内全域への誘客効果を高められた。(前年比:約12.1%増) 土佐和紙工芸村滞在型観光施設改修工事を実施し、観光客等利用者のニーズに合わせた施設の機能向上、滞在する時間を楽しむ空間づくり、宿泊者が安心して過ごす環境整備、インバウンド客等へのサービス向上を図った。					
ACTION:今後の対応	大型客船の入港などにより、海外観光客の団体での来客が多い傾向にある。継続して外国人観光客を受け入れるには、電子決済対応や案内表示の多言語化等受け入れ環境整備が必要である。 また、「仁淀ブルー体験博」の取り組みを通して、体験メニューの磨き上げや特別感のある内容とすることで、個人客の増加につなげる取り組みも進めていく。 改修工事による施設の機能向上に併せて、満足度の高い体験メニューを実施することで、更なるサービス向上を図り、町内の滞在期間を伸ばし、誘客効果を高める。					

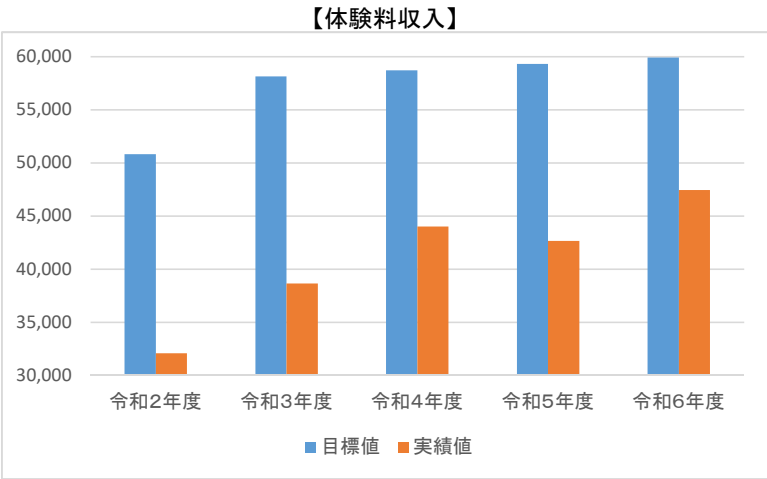
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(2)	外商の強化を図る				
具体的な施策	ア	観光振興				
	①	魅力ある新メニューの開発強化				
項目	★	体験料収入				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★体験料収入		59,903	千円	56,687	千円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	50,799	58,141	58,723	59,310	59,903	千円
実績値	32,065	38,621	43,996	42,640	47,444	千円
目標に対する達成率	63%	66%	75%	72%	79%	単年度目標
基準値に対する増減率	-43%	-32%	-22%	-25%	-16%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	■「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 仁淀ブルーを活用したDMO観光地域づくりの連携事業 ■石鎚山系の広域観光推進 (株)ソラヤマいしづちとの連携事業 ■れんけいこうち広域観光推進事業					
DO:実績 (事業内容等を記載)	入込客数報告収入:46,602,914円 仁淀ブルー体験博体験プログラム収入:840,600円					
CHECK:分析	高知県が主催する「どっぷり高知旅」キャンペーンや連続テレビ小説「らんまん」の影響も引き続きあり、前年度と比較して収入は約11.2%増加した。 仁淀ブルー体験博では、町内外からの参加者も多く、流域全体で観光資源の高付加価値化を目指してプログラムの造成を行い、新規顧客の獲得や町内全域への誘客効果を高められた。(前年比:約12.1%増)					
ACTION:今後の対応	大型客船の入港などにより、海外観光客の団体での来客が多い傾向にある。継続して外国人観光客を受け入れるには、電子決済対応や案内表示の多言語化等受け入れ環境整備が必要である。 また、「仁淀ブルー体験博」の取り組みを通して、体験メニューの磨き上げや特別感のある内容とすることで、個人客の増加につなげる取り組みも進めていく。 高知県・仁淀ブルー観光協議会と連携し、効果的な売り出し方法や今までのノウハウを生かした消費者に伝わる広報を行い、引き続き体験料収入増加の取り組みを進めていく。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

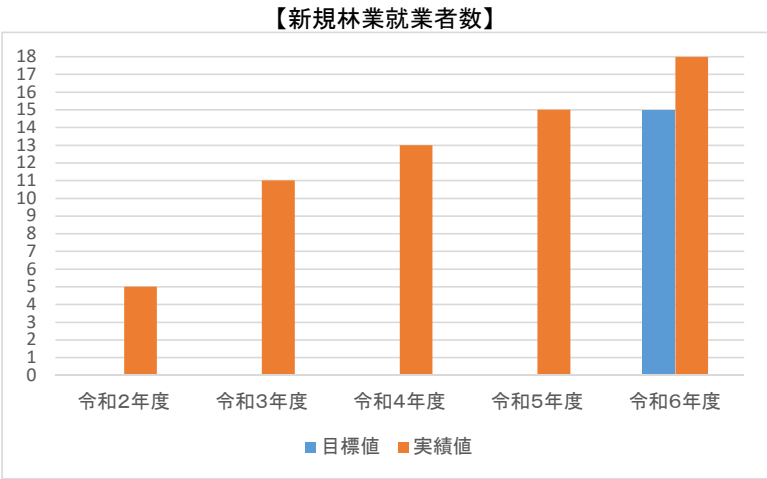


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(3)	雇用の創出を図る				
具体的な施策	ア	人財の確保				
	①	第一次産業等における担い手の確保				
項目	★	新規林業就業者数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
森林政策課	★新規林業就業者数	15	人	6	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	15	人
実績値	5	11	13	15	18	人
目標に対する達成率	33%	73%	87%	100%	120%	累計目標
基準値に対する増減率	-17%	83%	117%	150%	200%	
評価	評価なし	評価なし	評価なし	評価なし	◎	
PLAN: 取組内容	新規林業就業者への研修支援(林業労働力確保育成支援事業) 等					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	3事業体で3名採用された。 OJT研修への補助 実習生指導への補助 就職説明会参加への補助 安全衛生対策					
CHECK: 分析	就業体験希望者の実習生指導(3事業体3名)や、林業専門の就職説明会に参加し新規林業就業者確保を図るなど、就業者数の増加に向けた取組を積極的に行っている。					
ACTION: 今後の対応	林業担い手の確保に向け、各事業体の就職説明会等への積極的な参加を促すとともに、これらに必要な支援策の充実を図る。また引き続き林業従事者の育成、労働災害防止等への支援を継続して行っていく。					

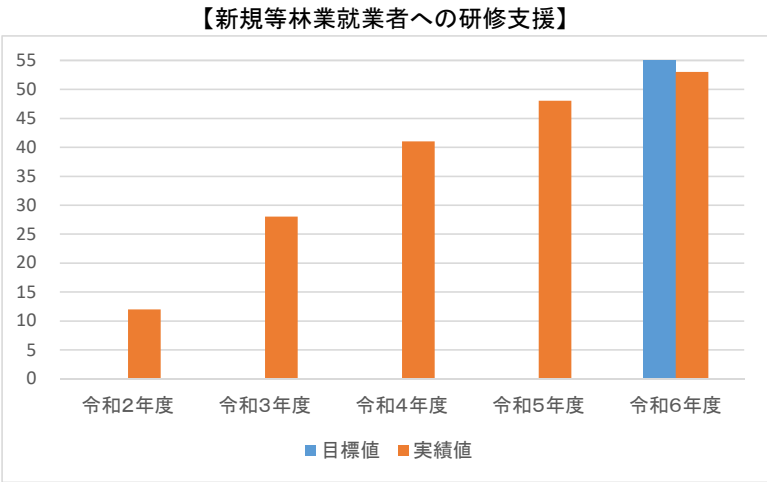
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(3)	雇用の創出を図る				
具体的な施策	ア	人財の確保				
	①	第一次産業等における担い手の確保				
項目	★	新規等林業就業者への研修支援				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
森林政策課	★新規等林業就業者への研修支援	55	人	11	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	55	人
実績値	12	28	41	48	53	人
目標に対する達成率	22%	51%	75%	87%	96%	累計目標
基準値に対する増減率	9%	155%	273%	336%	382%	
評価	評価なし	評価なし	評価なし	評価なし	△	
PLAN:取組内容	新規林業就業者への研修支援(林業労働力確保育成支援事業) 等					
DO:実績 (事業内容等を記載)	●1年目:3名 ●3年目:2名 合計 5名 事業内容 OJT研修への補助 実習生指導への補助 就職説明会参加への補助 安全衛生対策					
CHECK:分析	令和元年度実績と比較し1年目の研修人数が3名減少、2年目1名減少、3年目1名減少。 研修人数が全体的に減少傾向にあるが、各事業体では年間を通じて職員募集を積極的に行っており、継続的な雇用が行われている。					
ACTION:今後の対応	林業担い手の確保に向け、各事業体の就職説明会等への積極的な参加を促すと共に、これらに必要な支援策の充実を図る。また引き続き林業従事者の育成、労働災害防止等への支援を継続して行っていく。					

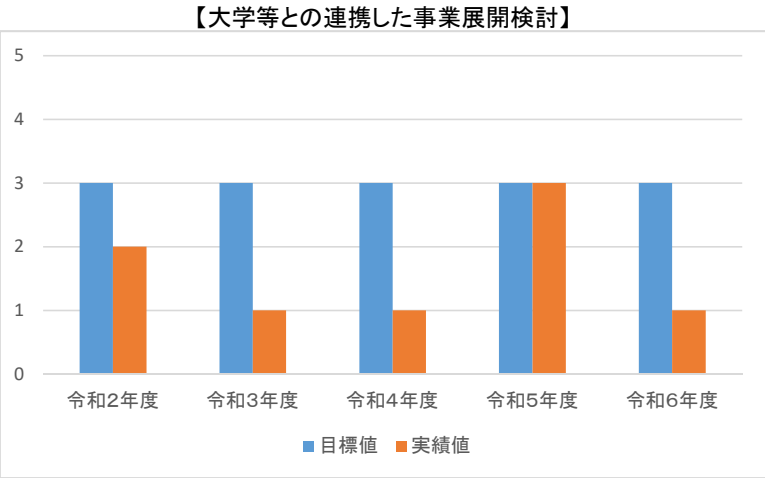
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(3)	雇用の創出を図る				
具体的な施策	イ	人財の育成				
	①	各領域の専門家集団の養成				
項目	★	大学等との連携した事業展開検討				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
土木課	★大学等との連携した事業展開検討	3	件	2	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	3	3	3	件
実績値	2	1	1	3	1	件
目標に対する達成率	67%	33%	33%	100%	33%	単年度目標
基準値に対する増減率	0%	-50%	-50%	50%	-50%	
評価	△	△	△	○	△	
PLAN: 取組内容	高知大学地域連携推進センター等と連携した取組み					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	高知工科大学環境建築デザイン研究室と共同で、R6年12月に、「クリスマスマーケット」として、JR伊野駅前駐輪場の活用や居心地の良い空間整備としての実証実験をおこなった。					
CHECK: 分析	実証実験を通じて、アンケート調査を実施することで、使用頻度の少ない公共空間としてのJR伊野駅前の駐輪場の活用についての検討材料となった。					
ACTION: 今後の対応	アンケート内容を精査するなかで、今後のJR伊野駅前の駐輪場も含め周辺整備の検討を行う。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	町でもサマーセミナーを実施しているが、件数としてカウントされていない理由は。 →サマーセミナーは官民連携事業として、民間が主導で実施しており、町はサポートに徹しているため、件数を上げていない。
総合評価	△ 目標値未満

基本目標2 新しい人の流れをつくる

基本的方向	連番	担当課	具体的な施策(詳細)	単位	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値	R5 目標値	R5 実績値	R6 目標値	R6 実績値	総合評価	R6(最終年度) 時点	累計
(1)いの町を知ってもらう	1	総合政策課	いの町ホームページへのアクセス数	回以上	20000	75,509	75,500	66,266	76,000	63,535	76,500	46,734	77,000	33,194	△	77,000	
	2	教育委員会	i-check(アイチェック)による学級の絆のiスコアの割合	%以上	－	－	80	80.8	80	84.5	80	87.7	80	80.8	◎	80	
	3	教育委員会	「自分には良いところがある」の肯定的回答の割合	%以上	85	72.4	85	70.9	85	72.4	85	76.5	85	76.1	△	85	
	5	教育委員会	ぶつくりハート体操の取組み人数	人以上	－	701	－	1,397	－	2,456	－	3,135	2,000	3,287	◎	2,000	○
	6	教育委員会	ぶつくりハートのキャラクターを活用したノベルティ商品の開発	商品	－	0	－	0	－	0	－	0	8	0	×	8	○
(2)いの町への関わりをつくる	8	総合政策課	ふるさと納税寄付件数	件以上	8,200	12,280	8,200	11,967	13,000	12,980	13,000	13,543	13,000	14,826	◎	13,000	
	9	総合政策課	移住相談者数	件(年平均)以上	300	193	300	213	300	178	300	149	300	150	△	300	
	10	総合政策課	移住相談後、いの町を案内した人数	人(年平均)以上	50	56	50	40	50	32	50	58	50	53	◎	50	
(3)いの町に住んでいただく	11	総合政策課	県外からの移住者数	組(年平均)以上	10	11	10	23	10	10	10	24	10	22	◎	10	
	12	本川教育事務所	町外から山村留学生新規留学生数	人(年間)以上	3	7	3	4	6	8	7	8	7	4	△	7	
	13	産業経済課	中心市街地 新規開業事業所数	事業所	2	2	4	8	5	12	6	14	7	17	◎	7	○

※連番「4」と「7」は欠番

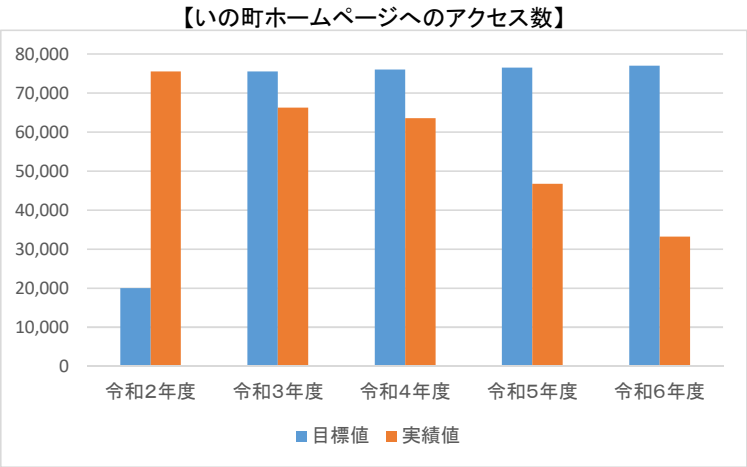
※連番13は、基本目標1連番28の再掲分

【推進委員からの意見】

移住ホームページアクセス数が減っているが、移住者数は実績値の倍以上となっていることに対して、どう考えているか。
→令和5年度から町民課の戸籍窓口等で転入者アンケートを実施していることもあり、町の移住相談窓口をとらない移住者の方がいる。ホームページのアクセス数向上については、魅力アップをするために改修を実施する予定である。

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらう！」ための取り組み				
	①	PR・情報発信				
項目	★	いの町ホームページへのアクセス数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★いの町ホームページへのアクセス数	77,000	回以上	43,502	回	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	20,000	75,500	76,000	76,500	77,000	回以上
実績値	75,509	66,266	63,535	46,734	33,194	回
目標に対する達成率	378%	88%	84%	61%	43%	単年度目標
基準値に対する増減率	74%	52%	46%	7%	-24%	
評価	◎	△	△	△	△	
PLAN: 取組内容	「いの町」を移住先を選んでいただくため、いの町移住応援サイト「ハッピーいの町ターン」を運用し、きめ細かに当町の移住支援事業を紹介する。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	サイト上で、空き家バンク物件と中間管理住宅の紹介、移住フェア等の移住イベントに関するお知らせ、ハローワークと農林業の求人情報を掲載し、「住まい」と「仕事」両方の情報発信をおこなったが、実績値を下回った。 なお、ホームページの改修に着手し、見やすく使いやすい魅力あるデザインに一新した。					
CHECK: 分析	移住希望者の傾向としては、まず高知県移住専用サイトを閲覧し、複数の市町村の中から移住先を選定する傾向である。また、県においても、デジタルマーケティングを活用した情報発信の強化や新たな移住プロモーションを展開しており、市町村ホームページ以外で市町村情報を取得する機会が増えている。 当町ホームページをピンポイントで閲覧し、移住相談に来られるケースが減少している。					
ACTION: 今後の対応	①当町が実施している子育て支援や教育、医療、住まいなど暮らしに関する情報の一元化 ②移住イメージをもってもらうためのコンテンツづくり(移住までの準備・流れや移住者インタビューの掲載など移住者目線で作成) ③ホームページSEO(検索エンジン最適化)対策を講じることで、県内市町村の中でも本町が上位に表示され、サイト内のコンテンツ拡充により移住を検討しているユーザーにリーチしやすくする。 以上3つのホームページの改修を実施し、プロモーション強化を図る。					

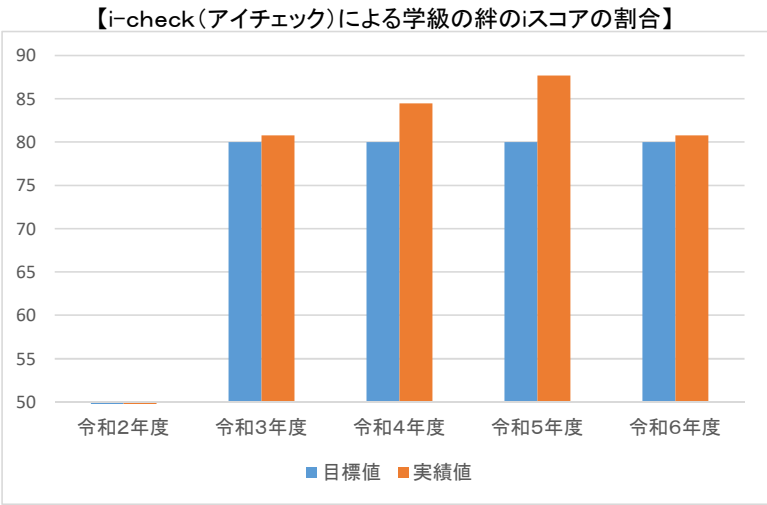
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	2 新しい人の流れをつくる					
基本的方向	(1) いの町を知ってもらう					
具体的な施策	(ア) 「いの町を知ってもらう！」ための取り組み					
	② いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」					
項目	★ i-check(アイチェック)による学級の絆のiスコアの割合					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★i-check(アイチェック)による学級の絆のiスコアの割合	80	%以上	-	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	80	80	80	80	%以上
実績値	-	80.8	84.5	87.7	80.8	%
目標に対する達成率	-	101%	106%	110%	101%	単年度目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-	-	
評価		◎	◎	◎	◎	
PLAN: 取組内容	いの町令和の教育ビジョンを策定し、「そろえる教育から一人一人を伸ばす教育へ」を目指し、4つのプロジェクトを中心に取組を進める。そのPROJECT03「誰一人取り残さない」として、各校において安心・安全な学校・学級づくりや、個別最適な学びやICTを活用した支援に取り組む。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	県事業指定校である伊野中学校「校内サポートルーム」、伊野小学校「個別最適な支援をつなぐ校区内連携」、枝川小学校「夢・志を育む学級運営のための実践研究事業」への支援や各校の校内支援会へ参加し助言をするなど、各校のニーズに応じた支援・対応を行った。					
CHECK: 分析	昨年度より6.9%下がったが、目標値を超えることができた。特に、県事業指定校は84.3%と町平均を上回っており、取組の成果と考えられる。 指定校以外は78.0%であった。指定校以外の学校は、単式学級又は複式学級であることから、県指定事業の取組(学級の絆づくり)はある程度の児童生徒がいる学校には有用な取組であると考えられる。					
ACTION: 今後の対応	指定校の取組で、他校でも効果が期待されそうな取組を広げていく。					

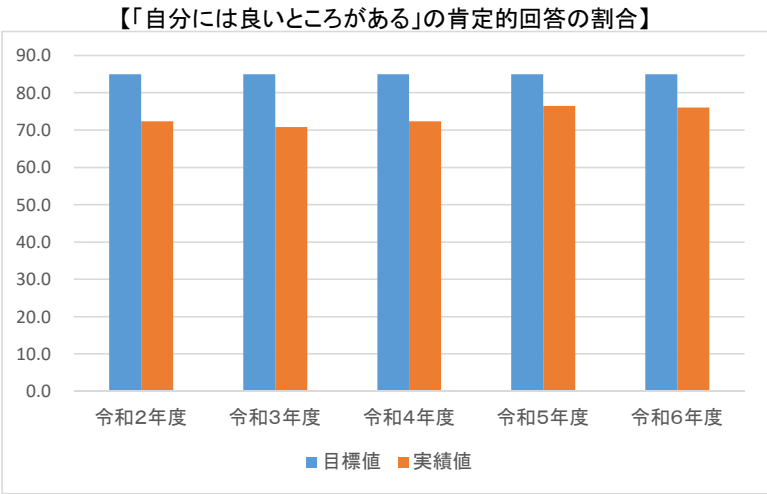
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	2 新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1) いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア) 「いの町を知ってもらう！」ための取り組み				
	② いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」				
項目	★ 「自分には良いところがある」の肯定的回答の割合				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度
	令和6年度				実績等
教育委員会	★「自分には良いところがある」の肯定的回答の割合	小中学校とも85	%以上	76.3	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
実績値	72.4	70.9	72.4	76.5	76.1
目標に対する達成率	85%	83%	85%	90%	90%
基準値に対する増減率	-5%	-7%	-5%	0%	0%
評価	△	△	△	△	△
PLAN: 取組内容	いの町令和の教育ビジョンを策定し、「そろえる教育から一人一人を伸ばす教育へ」を目指し、4つのプロジェクトを中心に取組を進める。そのPROJECT03「誰一人取り残さない」として、各校において安心・安全な学校・学級づくりや、個別最適な学びやICTを活用した支援に取り組む。				
DO: 実績 (事業内容等を記載)	県事業指定校である伊野中学校「校内サポートルーム」、伊野小学校「個別最適な支援をつなぐ校区内連携」、枝川小学校「夢・志を育む学級運営のための実践研究事業」への支援や各校の校内支援会へ参加し助言をするなど、各校のニーズに応じた支援・対応を行った。				
CHECK: 分析	5年連続で目標値を超えることができなかったが、全国学力学習状況調査児童生徒質問「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の肯定的回答の割合は、91.0%と高い。一方、同調査「将来の夢や目標を持っていますか」の肯定的回答の割合も、73.2%と低い。 このことから、先生から認められているが、それが自分の良さや強みであると感じ取れておらず、自己有用感等も高まっていないため、自尊心感情も高まっていないと考える。				
ACTION: 今後の対応	安心・安全な学校・学級づくりを継続しながら、子どもが自分の良さや強みを感じたり、仲間とともにより良い学校生活を送るために話し合ったり、学んだことを活かし達成感を感じられたりできる取組を推進する。				

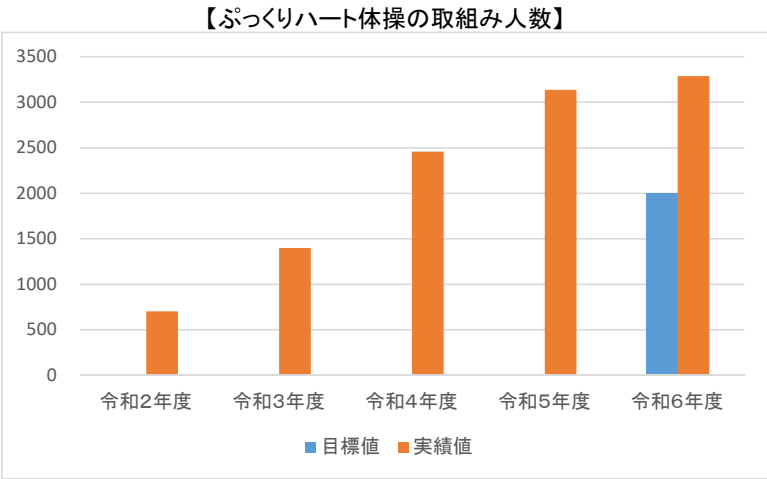
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

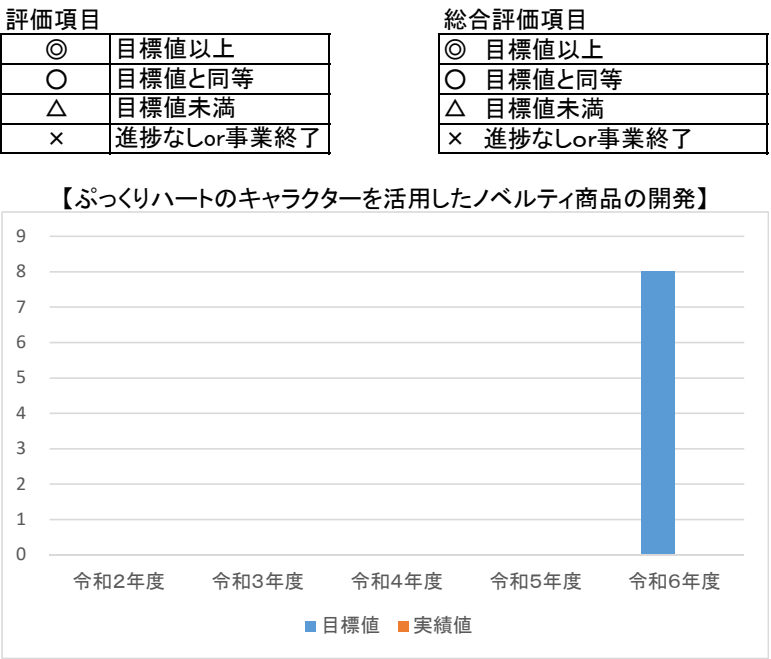
基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらう！」ための取り組み				
	②	いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」				
項目	★	ぷっくりハート体操の取組み人数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★ぷっくりハート体操の取組み人数	2,000	人以上	-	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	2,000	人以上
実績値	701	1,397	2,456	3,135	3,287	人
目標に対する達成率	-	-	-	-	164%	累計目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-	-	
評価	評価なし	評価なし	評価なし	評価なし	◎	
PLAN:取組内容	町内の保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校の運動会やぐりぐらひろばでぷっくりハート体操を、子どもと一緒にを行う。 ほけん福祉課主催「るんるん若がえる体操」に同行し、高齢者と一緒にぷっくりハート体操を行う。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	令和6年度から、事務局職員対応ではなく貸し出す形で実施した結果、3回の貸し出しに152人が参加した。 令和2年度から令和6年度の累計は3,287人と目標値を大きく超え達成できた。					
CHECK:分析	ほけん福祉課に同行することはできなかったが、ぷっくりハート体操は町内では一定浸透してきたと思われる。					
ACTION:今後の対応	取組や事業としてではなく、ぷっくりハートちゃんの着ぐるみの貸し出しのみを行う。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

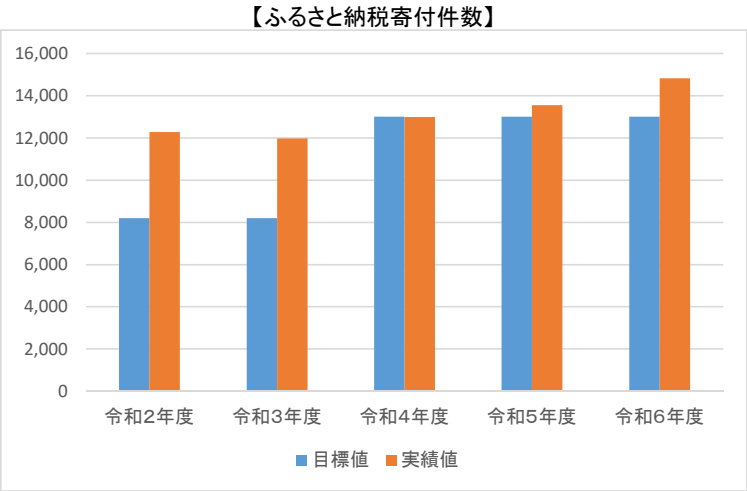
基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらう！」ための取り組み				
	②	いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」				
項目	★	ぷっくりハートのキャラクターを活用したノベルティ商品の開発				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★ぷっくりハートのキャラクターを活用したノベルティ商品の開発		8	商品	-	商品
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	8	商品
実績値	0	0	0	0	0	商品
目標に対する達成率	-	-	-	-	0%	累計目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-	-	
評価	評価なし	評価なし	評価なし	評価なし	×	
PLAN: 取組内容	他課等と連携し、ぷっくりハートちゃんをモチーフにしたノベルティ商品を開発し、町内外にぷっくりハートのPR活動につなげる。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和4年度に事業を終了し、現在はぷっくりハートちゃんの貸し出しを中心とし、商品開発は別の機会におこなう。					
CHECK: 分析						
ACTION: 今後の対応						



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	× 進捗なしor事業終了

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(2)	いの町への関わりをつくる				
具体的な施策	(ア)	多様な形で関わる人々「関係人口」づくり				
	①	「関係人口」づくり				
項目	★	ふるさと納税寄付件数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★ふるさと納税寄付件数	13,000	件以上	10,725	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	8,200	8,200	13,000	13,000	13,000	件以上
実績値	12,280	11,967	12,980	13,543	14,826	件
目標に対する達成率	150%	146%	100%	104%	114%	単年度目標
基準値に対する増減率	-	-	21%	26%	38%	
評価	◎	◎	○	◎	◎	
PLAN: 取組内容	返礼品のバリエーションや登録数を増やすために、新規事業者の開拓を行う。 返礼品情報を分かり易く伝えるために、ポータルサイト内の返礼品写真の見直しおよび撮り直し。 露出度をあげるために掲載サイト数を増やす。 人気返礼品の数量の確保 県内寄付額上位市町村で構成している自治体連携に加入し、共同返礼品の出品や、意見交換会への参加 仁淀川流域(日高村、土佐市)の市町村と定期便を考案し、受付・発送					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	前年に続いて令和6年度も、参入開始をした平成20年度以降において最多の件数金額となった。いの町に対しての都道府県別の寄付件数では、上から東京都3,826件(25.81%)、神奈川県1,311件(8.84%)、大阪府1,261件(8.51%)、愛知県1,066件(7.19%)、兵庫県796件(5.37%)…の順で寄付があった(件数は違うが前年も同じ順だった)。					
CHECK: 分析	トイレットペーパーやティッシュなど紙製品の件数が前年と比べて増加しており、リピートで注文する方が増えていることが一因として考えられる。 防災用品の簡易トイレ付トイレセットも前年と比べて増加している。 生鮮食品と比べて紙製品は出荷できる数が多く、紙製品が寄付額の大半(おおよそ7割近く)を占めている。 紙製品以外では、マンゴー、アイス、米(上東産)、文旦、トマト…の順で注文されている。					
ACTION: 今後の対応	令和7年度はこれまで取り組んできた新規返礼品開拓やサイト情報の見直しなどに加え、インターネットやSNSを活用したPRに取り組む。 寄付額の増加、ふるさと納税をきっかけにした関係人口の増加を目指していき、これまで以上にいの町の特産品の魅力的な売り出し方を考えていく必要がある。					

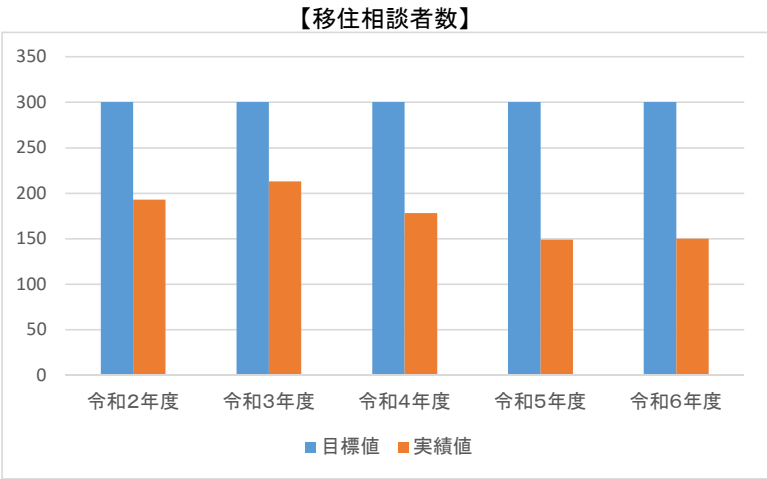
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証なし	
意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(2)	いの町への関わりをつくる				
具体的な施策	(ア)	多様な形で関わる人々「関係人口」づくり				
	②	いの町を「移住先」として選んでいただく				
項目	★	移住相談者数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★移住相談者数	300	件(年平均)以上	508	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	300	300	300	300	300	件(年平均)以上
実績値	193	213	178	149	150	件
目標に対する達成率	64%	71%	59%	50%	50%	単年度目標
基準値に対する増減率	-62%	-58%	-65%	-71%	-70%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	「いの町」を移住先を選んでいただくため、いの町移住応援サイト「ハッピーいの町ターン」の運用や県主催の移住フェアに参加するとともに、移住専門相談員を設置し移住相談に対し、きめ細かに対応する。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	移住相談数は150件となった。					
CHECK:分析	高知県主催の移住フェアを6月、1月に東京・大阪でリアル開催をおこなった。昨年度に比べると移住フェアでの相談者数は増えていると感じているが、窓口での相談件数が減ってきている。					
ACTION:今後の対応	対面式での相談対応を前提としたうえで、zoom等を活用したオンライン移住相談も積極的におこない、移住者に寄り添った相談対応を柔軟におこなっていく。 移住フェアだけでなく、地域でのイベントへ出張移住相談会と称し、参加をおこない、移住相談数の増加に繋げていく。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

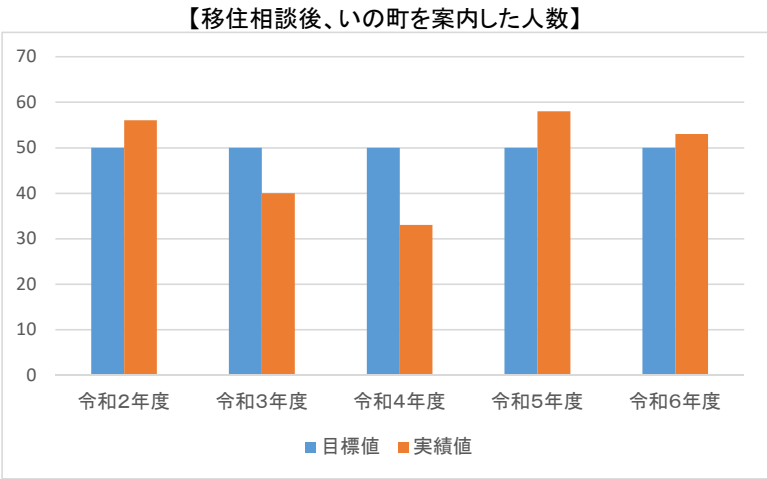


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(2)	いの町への関わりをつくる				
具体的な施策	(ア)	多様な形で関わる人々「関係人口」づくり				
	②	いの町を「移住先」として選んでいただく				
項目	★	移住相談後、いの町を案内した人数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★移住相談後、いの町を案内した人数	50	人(年平均)以上	21	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	50	50	50	50	50	人(年平均)以上
実績値	56	40	33	58	53	人
目標に対する達成率	112%	80%	66%	116%	106%	単年度目標
基準値に対する増減率	167%	90%	57%	176%	152%	
評価	◎	△	△	◎	◎	
PLAN: 取組内容	移住応援サイト「ハッピーいの町ターン」で、空き家バンク物件・中間管理住宅を紹介し、移住希望者に希望の物件を案内する。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	移住応援サイト「ハッピーいの町ターン」で、下記物件を紹介し、内見案内をした人数は下記のとおり。 空き家バンク内見者数: 44人 中間管理住宅内見者数: (第6号) 2人、(第10号) 7人					
CHECK: 分析	空き家バンクの物件確保と中間管理住宅を整備に努めたことによる成果					
ACTION: 今後の対応	移住希望者に対し、紹介できる物件が不足している。移住専門相談員を中心とした地区の空き家調査を実施、活用が見込まれる空き家については、アンケートを送付し、動向を探る。空き家バンク物件・中間管理住宅物件を確保し、内見案内者数の増加を図る。					

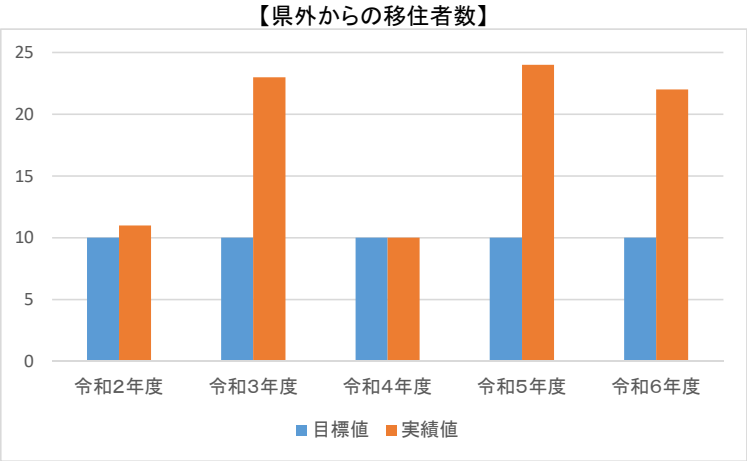
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(3)	いの町に住んでいただく				
具体的な施策	(ア)	移住定住の促進				
項目	★	県外からの移住者数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★県外からの移住者数	10	組(年平均)以上		12	組
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	10	10	10	10	10	組(年平均)以上
実績値	11	23	10	24	22	組
目標に対する達成率	110%	230%	100%	240%	220%	単年度目標
基準値に対する増減率	-8%	92%	-17%	100%	83%	
評価	◎	◎	○	◎	◎	
PLAN:取組内容	・県主催の移住フェアへの出店 ・移住専門相談員の設置 ・空き家バンク制度、中間管理住宅制度、お試し滞在住宅 主に以上の事業を実施し、いの町への移住者の増加・人口の社会減少の抑制を図る。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	【県主催移住フェア】 6月・1月に東京・大阪で開催。 【移住専門相談員の配置】 3名配置し、移住相談に対しきめ細かに対応できる体制を整備した。また、空き家調査を重点に行うこともできた。 【空き家バンク・中間管理住宅】 空き家調査数:153件 内、バンク登録物件数:9件 中間管理住宅:第10号整備。 【お試し滞在住宅】 高野邸:稼働率 15.34% 利用者:9世帯19名					
CHECK:分析	戸籍住基窓口での転入者アンケートに取り組むことで、総合政策課に移住相談がなかった移住者数も拾い出すことができた。 移住専門相談員が3名体制になったことにより、空き家調査にも力をいれることができた。 お試し滞在住宅の稼働率は昨年度(高野邸:稼働率 9.56% 利用者:8世帯16名)と比べ増えているが、年間を通して依然低い結果となっている。					
ACTION:今後の対応	移住希望者に紹介できる物件の確保が課題となっている。移住専門相談員を中心とした地区の空き家調査を実施、活用が見込まれる空き家については、アンケートを送付し、動向を探る。空き家バンク物件・中間管理住宅物件を確保し、移住者の増加に努める。 空き家バンク物件登録数の増加に向けては、過去に登録に至らなかった物件に対し、再度所有者に登録について意向を確認するなど後追いを行っていく。 お試し滞在住宅の利用推進も含めて、観光目的でもまずいの町へ来てもらうことを目指し、対応していく。					

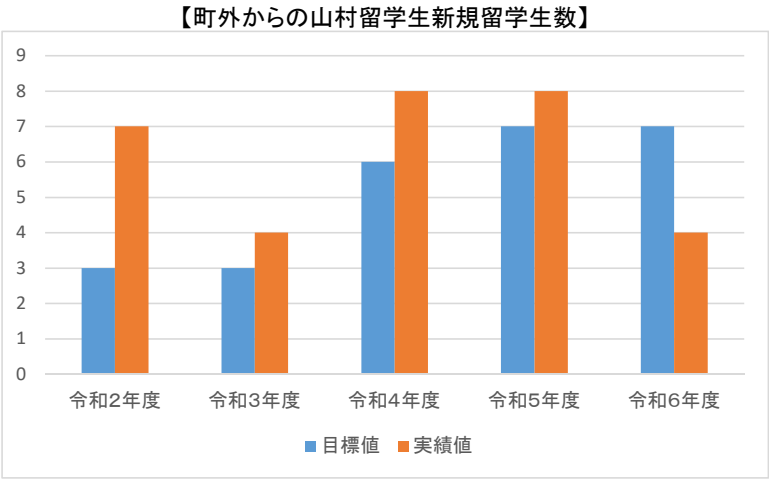
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(3)	いの町に住んでいただく				
具体的な施策	(イ)	町外からの人財・企業の誘致				
項目	★	町外からの山村留学生新規留学生数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
本川教育事務所	★町外からの山村留学生新規留学生数	7	人(年間)以上	7	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	6	7	7	人(年間)以上
実績値	7	4	8	8	4	人
目標に対する達成率	233%	133%	133%	114%	57%	単年度目標
基準値に対する増減率	0%	-43%	14%	14%	-43%	
評価	◎	◎	◎	◎	△	
PLAN:取組内容	本川中学校部活動指導者の雇用					
DO:実績 (事業内容等を記載)	昨年度に引き続き、実力のある部活動指導員を雇用し、バドミントン部活動の充実した学校として情報発信を行った。当該指導員は、スポーツ学を学んでおり、培った知識を十分に発揮し、生徒の生活面、精神面でのフォローアップもできた。					
CHECK:分析	山村留学希望者からの問い合わせが少なく、目標人数の確保ができなかった。 バドミントン部については、各生徒が日々の鍛錬を行っている。県中学学年別大会においてベスト16の成績を残す生徒もあり、指導員の活動の成果が認められる。					
ACTION:今後の対応	令和7年度においては、部活動に限らず、様々な魅力的な活動を発信し、目標人数以上の山村留学生の確保に努めていく。					

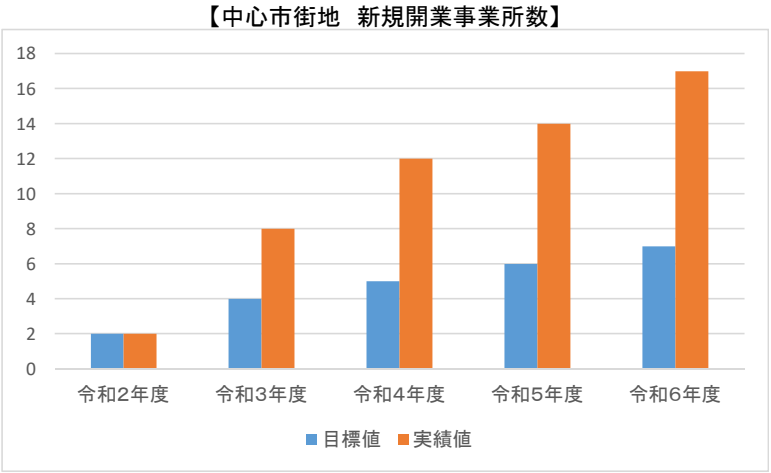
評価項目	◎ 目標値以上	◎ 目標値以上
○ 目標値と同等	○ 目標値と同等	○ 目標値と同等
△ 目標値未満	△ 目標値未満	△ 目標値未満
× 進捗なしor事業終了	× 進捗なしor事業終了	× 進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(3)	いの町に住んでいただく				
具体的な施策	(イ)	町外からの人財・企業の誘致				
項目	★	中心市街地 新規開業事業所数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★中心市街地 新規開業事業所数	7	事業所	7	事業所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	4	5	6	7	事業所
実績値	2	8	12	14	17	事業所
目標に対する達成率	100%	400%	400%	233%	243%	累計目標
基準値に対する増減率	-71%	14%	71%	100%	143%	
評価	○	◎	◎	◎	◎	
PLAN: 取組内容	■ 企業立地の取り組み（いの町産業振興奨励金）等 ■ いの町空き店舗対策家賃補助助成事業（創業支援事業） ■ 第2期いの町中心市街地活性化計画を策定（R4.12月）					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	いの町産業振興奨励金（高知食糧(株)たまごセンター）を実施した。 いの町空き店舗対策家賃補助助成事業 4件：廣福堂（雑貨）、カラアゲ推し鶏（飲食）、ライアンズキッチン（飲食）、(株)好日（児童福祉施設）を実施した。 新規開業 3件：シェルパ((株)好日)（児童福祉施設）、ヤイロドーナツ（飲食）、和耕肉店（小売）※新事業主による開業					
CHECK: 分析	近年は安定した新規出店がある。同エリアの店舗数の推移は、H27・77店舗、R1・73店舗、R4・74店舗、R6・76店舗となっており、廃業する事業者もいる中、店舗数は一定維持されている。また、中心市街地活性化事業などでイベントを実施し、商店街は交流の場や集客の役割を担っている。 毎年一定の新規出店の相談があるが、利用可能な空き店舗が少なく、出店支援が行き届いているとは言い難い。 中心市街地で開催されるイベント等には、同エリアの事業者への積極的な参加を呼びかけ、店舗の認知度・売上げ向上を促した。					
ACTION: 今後の対応	使える空き店舗数を増やすため、れんけいこうちや商工会等と連携して情報収集や情報発信力を向上させる。 商工会等と連携し、新規開業した事業者にも、中心市街地で開催されるイベント等へ積極的に参加してもらい、店舗の認知等を促す。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)

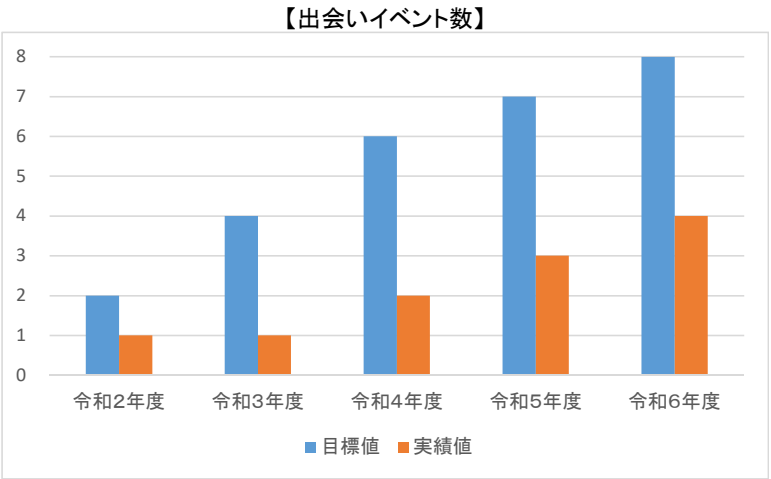
意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する

基本的方向	連番	担当課	具体的な施策（詳細）	単位	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値	R5 目標値	R5 実績値	R6 目標値	R6 実績値	総合評価	R6(最終年度) 時点	累計
(1)誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進 (ア)安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築 (2)女性の活躍の場を拡大する (ア)女性の活躍の場を拡大する	1	総合政策課	出会いイベント数	回	2	1	4	1	6	2	7	3	8	4	△	8	○
	2	総合政策課	出会いイベントでのマッチング数	組	3	3	6	3	9	5	12	8	16	10	△	16	○
	3	総合政策課	サポーター数(婚活・マッチング・サブ)	人	3	2	6	2	9	5	12	8	14	8	△	14	○
	4	教育委員会	子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く。)	人(年平均)以上	7100	4,277	7,100	5,683	7,100	6,573	7,100	6,728	7,100	5,865	△	7,100	
	5	教育委員会	子育て支援センター内プレママほっとルームへの来訪者数	人(年平均)以上	100	206	100	132	100	242	200	244	200	196	△	200	
	6	ほけん福祉課	1歳6か月児健診の受診率	%	100	100	100	97	100	95	100	98	100	101	◎	100	
	7	ほけん福祉課	3歳児健診の受診率	%	100	98.6	100	96	100	93	100	103	100	95	△	100	
	8	教育委員会	児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む。)	件(年平均)以下	1300	1219	1,300	1,017	1,300	1,289	1,300	1,209	1,300	1,214	◎	1,300	
	9	教育委員会	延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施	か所以上	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	○	3	
	10	教育委員会	乳児保育の実施	か所以上	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	○	7	
	11	教育委員会	一時預かり事業	か所以上	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	○	3	
	12	教育委員会	病後児保育事業	か所	-	-	-	-	3	3	3	3	3	3	○	3	
	13	教育委員会	地域子育て支援拠点事業の実施箇所	か所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	○	1	
	14	教育委員会	放課後児童クラブへの主任支援員配置人数	人以上	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	○	2	
	15	教育委員会	放課後児童クラブ常勤支援員の専門資格取得率	%以上	50	55	50	81	50	72	50	89	50	87	◎	50	
	16	教育委員会	放課後子ども教室開設数(週2回以上開設か所)	か所以上	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	○	5	
	17	教育委員会	4か月健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率	%以上	90	0	90	0	90	91	90	90	90	97	◎	90	
	18	教育委員会	4か月健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つと感じた割合	%	100	0	100	0	100	100	100	99	100	100	○	100	

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる・女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	①	独身者への総合的な出会い・きっかけ支援				
項目	★	出会いイベント数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★出会いイベント数		8	回	3	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	4	6	7	8	回
実績値	1	1	2	3	4	回
目標に対する達成率	50%	25%	33%	43%	50%	累計目標
基準値に対する増減率	-67%	-67%	-33%	0%	33%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	出会いのきっかけづくりだけでなく、地域の特色・特産を体験・味わうことで、町の魅力を感じていただけるようなイベントを、企業・団体とタイアップして開催する。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	12月22日にいの町観光協会への委託事業として、グリーン・パークほだので出会いイベントを開催。 キャンドル作り体験をし、グループに分かれシチュー作りを実施した。当日は男性6名、女性7名が参加し、計2組のカップルが成立した。					
CHECK:分析	R5年度と同様、いの町役場から会場まで参加者をバスで送迎を行った。ただしR5年度と同様、男性の応募者数は定員を超えたものの、女性の応募者数が定員を割り、応募者確保に苦慮した。 女性の参加者が集まらないといった背景が県下のイベント全体としてあるようで、原因としては特定できていないが、市街地から遠く、移動時間がかかることは参加者にとって負担に感じるのだと考える。 また、在住市町村のイベントへ参加することに気が引けている方も一定数おり、町在住の方の女性参加数が少ない。					
ACTION:今後の対応	地域資源を活用し、出会いにつながらなくても参加することでお得感を感じていただける出会いイベントを関係団体と協働した結果、令和7年度は2回実施予定とした。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

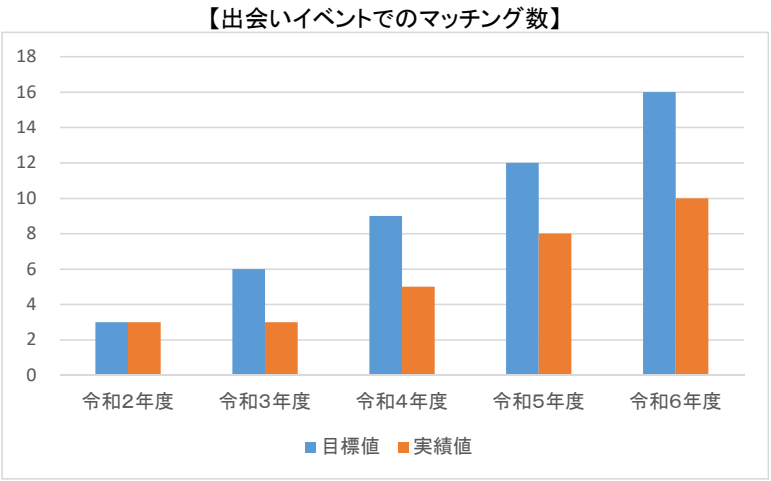


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	①	独身者への総合的な出会い・きっかけ支援				
項目	★	出会いイベントでのマッチング数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★出会いイベントでのマッチング数	16	組	-	組	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	6	9	12	16	組
実績値	3	3	5	8	10	組
目標に対する達成率	100%	50%	56%	67%	63%	累計目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-	-	
評価	○	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	出会いイベント内容において、男女が満遍なく交流できるよう工夫し、マッチング数を少しでも増やす。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	12月22日にグリーン・パークほので開催したデイキャンプ体験出会いイベントにおいて、男性6名、女性7名が参加し2組のマッチングが成立し、成立率としては30%であった。					
CHECK:分析	イベントの前半で1対1プロフィールトーク、グループでのキャンドルやシチュー作り、さらに最後にも1対1プロフィールトークを設定し、男女が満遍なく交流できる時間を設けたことにより、マッチングにつながった。					
ACTION:今後の対応	限られた時間内に、参加者同士が満遍なく交流できるイベント内容にするなど、創意工夫し引き続きイベントを企画する。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

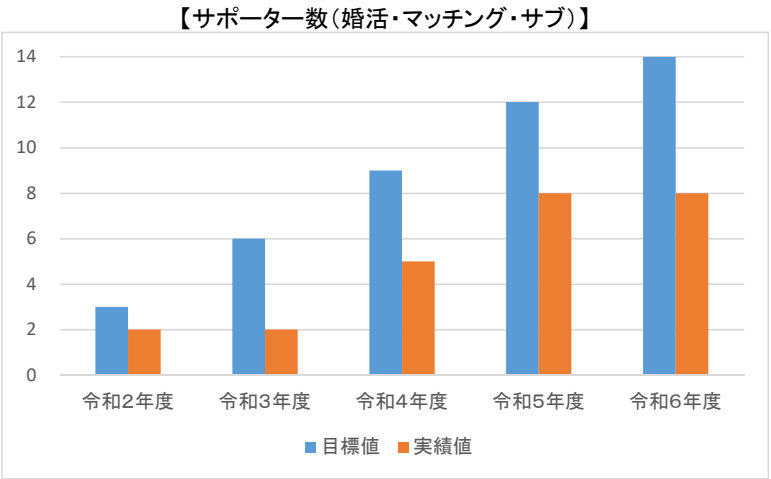


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する					
基本的方向	#REF!		#REF!			
具体的な施策	#REF!		#REF!			
	① 独身者への総合的な出会い・きっかけ支援					
項目	★ サポーター数(婚活・マッチング・サブ)					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★サポーター数(婚活・マッチング・サブ)		14	人	-	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	6	9	12	14	人
実績値	2	2	5	8	8	人
目標に対する達成率	67%	33%	56%	67%	57%	累計目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-	-	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	希望する誰もが安心して希望の時期に結婚できるよう、婚活でのカップル成立から結婚に繋げるために、その支援に携わるサポーターの養成にも取り組む。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	令和6年度は、マッチングサポーター登録は0名。					
CHECK:分析	広報誌で周知を図ったものの、令和6年度の登録は0名となった。					
ACTION:今後の対応	サポーター養成講座開催の周知するほか、個人への声掛けも実施する。					

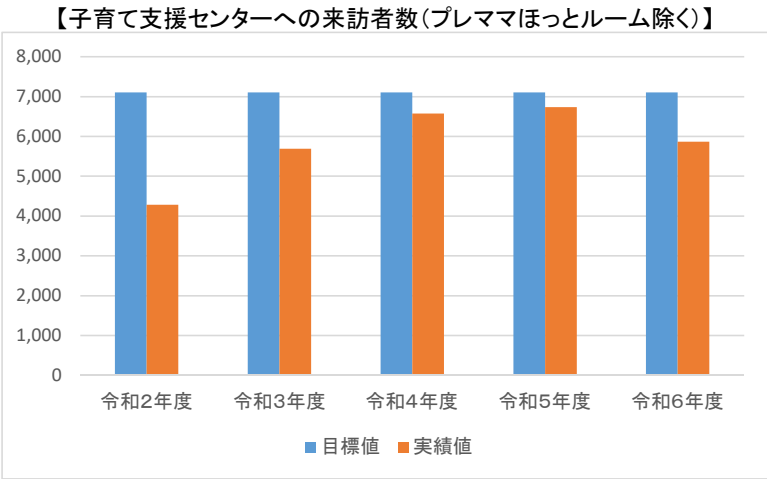
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	②	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く)	7,100	人(年平均)以上	6,828	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	人(年平均)以上
実績値	4,277	5,683	6,573	6,728	5,865	人
目標に対する達成率	60%	80%	93%	95%	83%	単年度目標
基準値に対する増減率	-37%	-17%	-4%	-1%	-14%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN: 取組内容	地域子育て支援拠点事業 妊娠期から子育て家庭への支援の充実					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	子育て支援センターへの来訪者数5,865人。 保育士の視点から各種事業を推進し、当事者の声にも寄り添いながら、機能の充実を図った。また、母子保健事業との連携により、妊娠期から子育て期までの段階に応じた、きめ細かな支援を行い、出産や育児への不安を軽減する取り組みを展開した。 ※(事業内容: 子育て家庭の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育て及び、子育て支援に関する講習等の実施)					
CHECK: 分析	町内唯一の子育て支援拠点であり、特に未就園児の子育て家庭を包括的に支援する場として重要な事業である。当事者の声に寄り添いながら拠点の機能強化に継続的に取り組んできたが、少子化の進行や共働き家庭の急速な増加等の影響により、来訪者数が大幅に減少したと考えられる。					
ACTION: 今後の対応	引き続き、妊娠期から子育て期までの包括的な支援を目指して、保健・福祉と連携した切れ目のない子育て支援体制を強化していく。また、地域全体で子育てを支え合う取り組みを推進し、安心して子育てができる地域づくりに繋げる。					

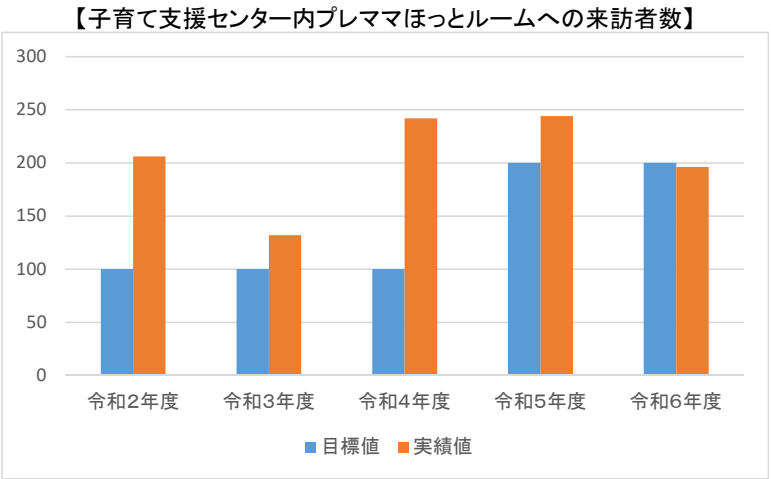
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	共働き家庭への支援はどのような取り組みがあるのか。 →放課後児童クラブの開設数を増加させる、社会福祉協議会にもお手伝いいただき、連携して支援していく。
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	②	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	子育て支援センター内プレママほっとルームへの来訪者数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★子育て支援センター内プレママほっとルームへの来訪者数	200	人(年平均)以上	329	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	100	100	100	200	200	人(年平均)以上
実績値	206	132	242	244	196	人
目標に対する達成率	206%	132%	242%	122%	98%	単年度目標
基準値に対する増減率	-37%	-60%	-26%	-26%	-40%	
評価	◎	◎	◎	◎	△	
PLAN:取組内容	・産前産後の母親のストレス緩和、赤ちゃんの「心の安全基地づくり」の推進(なないろはあと事業) ・プレママほっとルームの活用(産前産後の母親の居場所) 妊娠期から子育て期までの段階に応じた、きめ細かな支援、助言、指導を行い、不安感の解消に向けた取組を展開していく。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	プレママほっとルームへの来訪者数196人。 より良い愛着形成のスタート時期である妊婦や就園前の親子、その家族を対象に、小児科医師や助産師との座談会、ベビーマッサージ、ベビー＆ママヨガ等の子育て支援センターで定期的に実施した。 また、プレママほっとルームでは、産前産後の母親が集い交流を図る機会を設けるとともに、個別相談等で出産や育児への不安軽減に繋がる取り組みも展開した。					
CHECK:分析	妊娠期から地域と繋がる切れ目のない支援が重要であり、事業内容の充実等に継続して努めてきたが、子育て支援センターへの来訪者数減少に伴って、プレママほっとルームの来訪者数も減少傾向に転じたと考えられる。					
ACTION:今後の対応	妊産婦が集うきっかけとなるように集いの機会の拡充を図り、交流促進や利用への不安軽減に繋げる。 対象となる妊産婦への周知を関係機関と連携して行い、必要に応じて個別対応をする。 また、引き続き、妊娠期から子育て期までの包括的な支援を目指して、保健・福祉と連携した切れ目のない子育て支援体制を強化していく。					

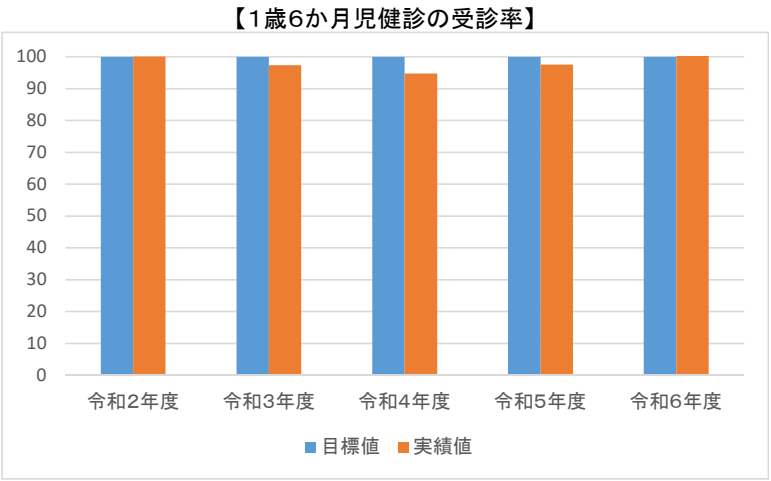
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(イ)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	1歳6か月児健診の受診率				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
ほけん福祉課	★1歳6か月児健診の受診率	100	%	98.4	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	100	100	100	100	100	%
実績値	100	97	95	98	101	%
目標に対する達成率	100%	97%	95%	98%	101%	単年度目標
基準値に対する増減率	2%	-1%	-4%	-1%	3%	
評価	○	△	△	△	◎	
PLAN:取組内容	母子保健事業の充実(乳幼児健診)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	多職種による乳幼児健診を実施し、乳幼児の発育・発達状況を確認するとともに、育児不安を抱く親を把握し、助言を行いながら個々の子育て家庭に寄り添った支援を実施した。					
CHECK:分析	健診未受診者に保健師の訪問等により児の状態を確認するとともに、健診受診勧奨を行い受診につなげた。未受診者1名については繰り返し受診勧奨を行うものの、保護者の意向により健診受診を拒否し、法定年齢を過ぎたため未受診となったが、園訪問や来所対応で現状把握できている。健診の場で保健師や言語聴覚士、保育士など多職種で親子を観察し、言葉や発達の相談や保健指導を実施。対象児の半数以上が何らかのフォローが必要となっており、親力カウンセリング事業、言語聴覚士の個別相談、園訪問等で継続対応している。					
ACTION:今後の対応	R7.4月からこども家庭センターを設置し、母子保健担当や児童福祉担当など多職種で連携しながら、妊娠期から継続した関わりを持ち、健診受診勧奨、健診時の育児相談対応および、事後フォローを行うなど切れ目のない支援を実施していく。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

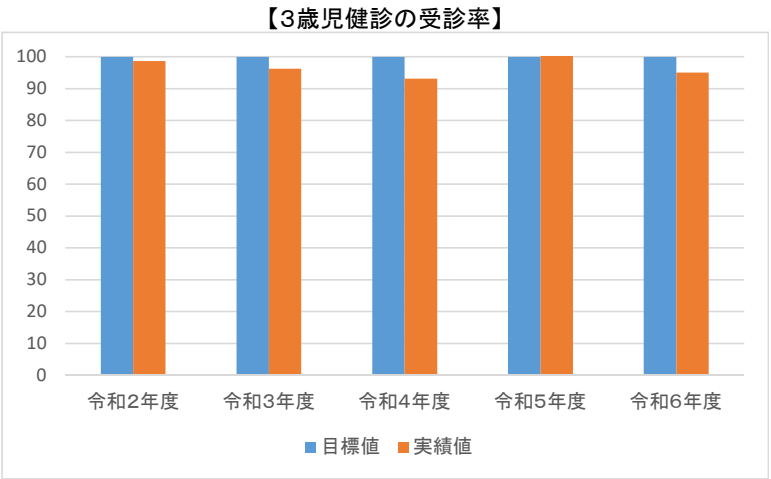


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	②	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	3歳児健診の受診率				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
ほけん福祉課	★3歳児健診の受診率	100	%	98.1	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	100	100	100	100	100	%
実績値	98.6	96	93	103	95	%
目標に対する達成率	99%	96%	93%	103%	95%	単年度目標
基準値に対する増減率	1%	-2%	-5%	4%	-3%	
評価	△	△	△	◎	△	
PLAN:取組内容	母子保健事業の充実(乳幼児健診)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	多職種による乳幼児健診を実施し、乳幼児の発育・発達状況を確認するとともに、育児不安を抱く親を把握し、助言を行いながら個々の子育て家庭に寄り添った支援を実施した。					
CHECK:分析	健診未受診者に保健師の訪問等により児の状態を確認するとともに、健診受診勧奨を行い受診につなげた。未受診者は10名だが、うち8名については令和7年度の3歳児健診で受診予定。他2名については、繰り返し受診勧奨を行うものの、保護者の意向により健診受診を拒否し、法定年齢を過ぎたため未受診となったが、自宅・園訪問や来所対応で現状把握できている。 健診の場では、保健師や言語聴覚士、保育士など多職種で親子を観察し、言葉や発達の相談や保健指導を実施。対象児の半数以上が何らかのフォローが必要となっており、親カウンセリング事業、言語聴覚士の個別相談、園訪問等で継続対応している。					
ACTION:今後の対応	R7.4月からこども家庭センターを設置し、母子保健担当や児童福祉担当など多職種で連携しながら、妊娠期から継続した関わりを持ち、健診受診勧奨、健診時の育児相談対応および、事後フォローを行うなど切れ目のない支援を実施していく。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

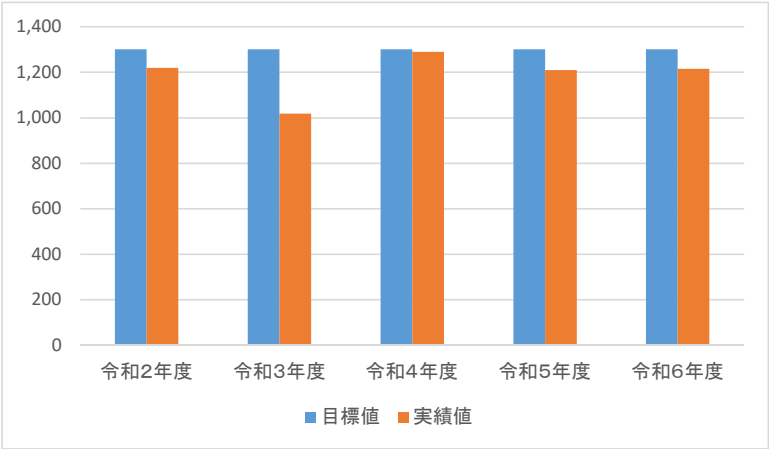


推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(2)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む)	1,300	件(年平均)以下	1,384	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	件(年平均)以下
実績値	1,219	1,017	1,289	1,209	1,214	件
目標に対する達成率	-6%	78%	99%	93%	93%	単年度目標
基準値に対する増減率	-12%	-27%	-7%	-13%	-12%	
評価	◎	◎	◎	◎	◎	
PLAN:取組内容	児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む。)子どもや保護者等からの相談を受け付け、福祉、保健、医療、教育等の関係機関と連携して、子どもの福祉に関する支援業務を行う。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	1,214件 ①実情の把握 ②関係機関と情報共有し、支援方針を共有 ③保護者や子どもへの面談等、継続的な支援を実施					
CHECK:分析	課題の把握に努め、関係機関と連携して対象家庭への支援を行うなど、養育状況がより良くなるよう注力した。					
ACTION:今後の対応	教育、保健、福祉、医療等の関係機関と緊密に連携し、様々な社会資源を活用して、養育状況の改善に向けた支援を実施する。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

【児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む)】

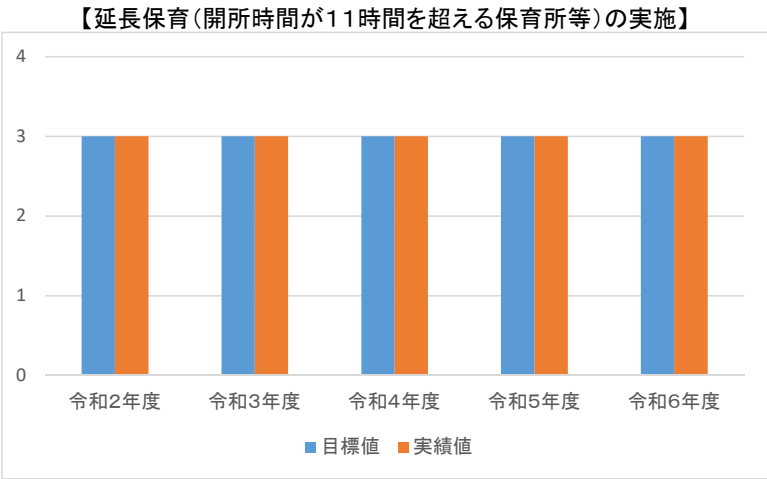


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施	3	か所以上	3	か所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	3	3	3	か所以上
実績値	3	3	3	3	3	か所
目標に対する達成率	100%	100%	100%	100%	100%	単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%	0%	0%	
評価	○	○	○	○	○	
PLAN:取組内容	延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施					
DO:実績 (事業内容等を記載)	伊野保育園、あいの保育園、神谷保育園において実施					
CHECK:分析	延長保育実施により、保護者の就労状況に沿った保育園での受け入れを行い、子育て支援の充実を図った。					
ACTION:今後の対応	保護者のニーズ及び提供体制により実施を検討する。					

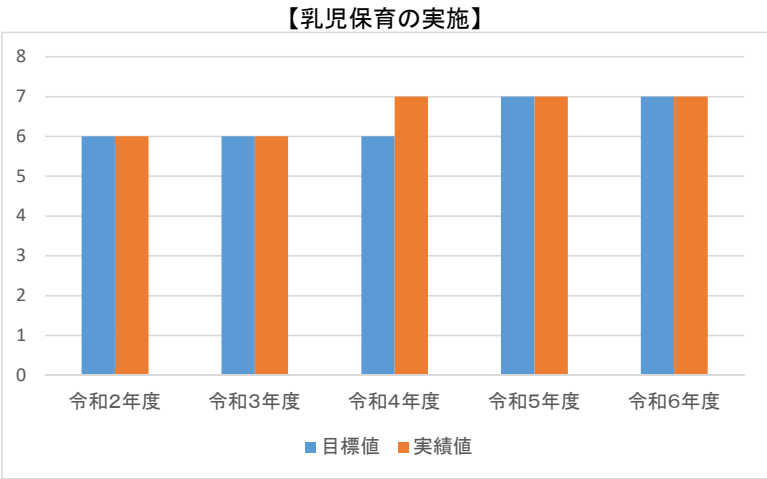
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	乳児保育の実施				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★乳児保育の実施		7	か所以上	6	か所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	6	6	6	7	7	か所以上
実績値	6	6	7	7	7	か所
目標に対する達成率	100%	100%	117%	100%	100%	単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	17%	17%	17%	
評価	○	○	◎	○	○	
PLAN: 取組内容	乳児保育の実施					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	伊野保育園、あいの保育園、天神保育園、神谷保育園、認定こども園えだがわ、認定こども園ごぼく、家庭的保育事業所あんずのぼっけにおいて実施					
CHECK: 分析	共働き世帯の増加により、乳児保育へのニーズが高まっている。乳児保育を6園と1施設で実施し、受け入れ体制の充実を図った。					
ACTION: 今後の対応	引き続き、保護者のニーズに沿った支援体制を検討する。					

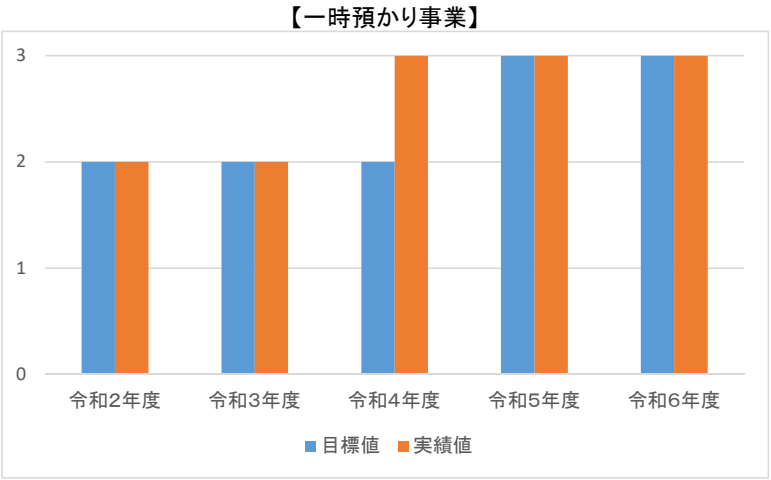
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	一時預かり事業				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★一時預かり事業	3	か所以上	2	か所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	2	3	3	か所以上
実績値	2	2	3	3	3	か所
目標に対する達成率	100%	100%	150%	100%	100%	単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	50%	50%	50%	
評価	○	○	◎	○	○	
PLAN:取組内容	一時預かり事業					
DO:実績 (事業内容等を記載)	あいの保育園、認定こども園えだがわ、伊野幼稚園において実施					
CHECK:分析	一時的に家庭での保育が困難となる場合や、保護者の育児疲れ等により一時預かり事業への利用ニーズが高まっている。一時預かり事業を3園で実施し、受け入れ体制の充実を図った。					
ACTION:今後の対応	引き続き、保護者のニーズに沿った支援体制を検討する。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

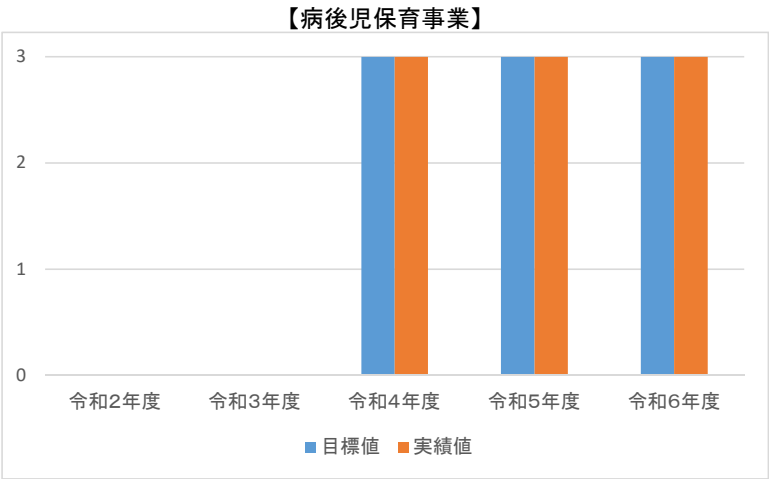


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	病後児保育事業				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★病後児保育事業	3	か所	0	か所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	3	3	3	か所
実績値	-	-	3	3	3	か所
目標に対する達成率	-	-	100%	100%	100%	単年度目標
基準値に対する増減率	-	-	300%	300%	300%	
評価			○	○	○	
PLAN:取組内容	病後児保育事業					
DO:実績 (事業内容等を記載)	いの町総合健康センター内、吾北中央公民館内、本川プラチナ交流センター内において実施					
CHECK:分析	保護者の子育てと就労の両立支援を目的に、病後児保育事業を旧伊野地区、吾北地区、本川地区の3拠点において実施した。					
ACTION:今後の対応	保護者のニーズ及び提供体制により実施を検討する。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

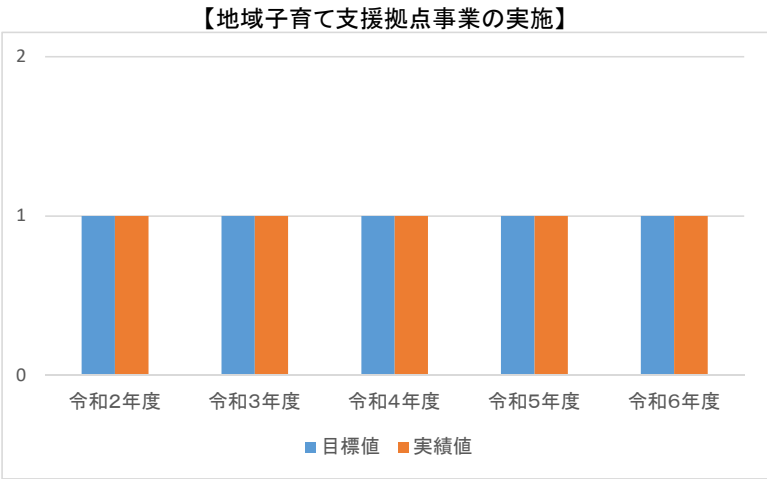


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	地域子育て支援拠点事業の実施				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★地域子育て支援拠点事業の実施		1	か所	1	か所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1	1	1	1	1	か所
実績値	1	1	1	1	1	か所
目標に対する達成率	100%	100%	100%	100%	100%	単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%	0%	0%	
評価	○	○	○	○	○	
PLAN:取組内容	地域子育て支援拠点事業 妊娠期から子育て家庭への支援の充実。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	地域子育て支援拠点として、「ぐりぐらひろば」1カ所をいの町総合健康センターに開設。(妊婦、子育て家庭を対象とした交流の場の提供と日常的な見守り。)保育士を配置し、妊娠期から子育て期までの段階に応じた、きめ細かな支援を行い、出産や育児への不安を軽減する取り組みを展開した。また、関係機関や地域と連携し、子育て家庭を地域ぐるみで見守る支援体制の整備を図った。					
CHECK:分析	町内唯一の子育て支援拠点であり、特に未就園児の子育て家庭を包括的に支援する場として重要な事業である。子育て家庭の孤立を予防し育児不安の軽減に繋げるためにも、妊婦や子育て家庭が他者と出会い交流できる仕組みを、意図的に作りだすことが求められている。					
ACTION:今後の対応	引き続き、妊娠期から子育て期までの包括的な支援を目指して、保健・福祉と連携した切れ目のない子育て支援体制を強化していく。また、地域全体で子育てを支え合う取り組みを推進し、安心して子育てができる地域づくりに繋げる。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

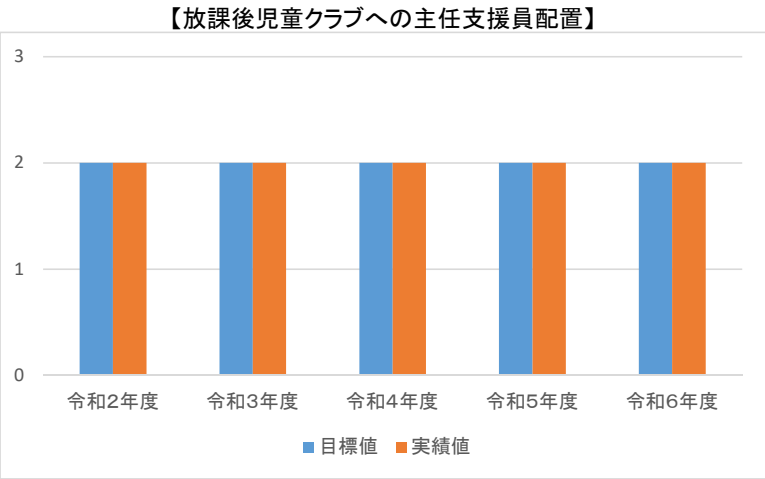


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	放課後児童クラブへの主任支援員配置				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★放課後児童クラブへの主任支援員配置	2	人以上	2	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	2	2	2	人以上
実績値	2	2	2	2	2	人
目標に対する達成率	100%	100%	100%	100%	100%	単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%	0%	0%	
評価	○	○	○	○	○	
PLAN:取組内容	令和6年度までの間 児童クラブへ主任支援員を2名以上配置					
DO:実績 (事業内容等を記載)	伊野小学校ひまわり児童会と枝川小学校さくらんぼ児童会に1名ずつ配置できた。					
CHECK:分析	主任支援員を配置することにより、パソコンを使用した簡易な事務処理やおやつの買い出し、学校との情報共有を他の支援員が出勤する14時より前に行うことができ、スムーズなクラブ運営をすることが可能となっている(ひまわり児童会やさくらんぼ児童会のような大規模な児童クラブの場合、14時以降にこのような業務を行うと児童の育成支援に支障が出る)。					
ACTION:今後の対応	現在主任支援員が配置されている児童クラブには継続して主任支援員を配置することで、スムーズなクラブ運営を継続していく。また、現在主任支援員が配置されていない小規模な児童クラブにおいてもクラブ運営をスムーズに行っていくために配置を検討していく。					

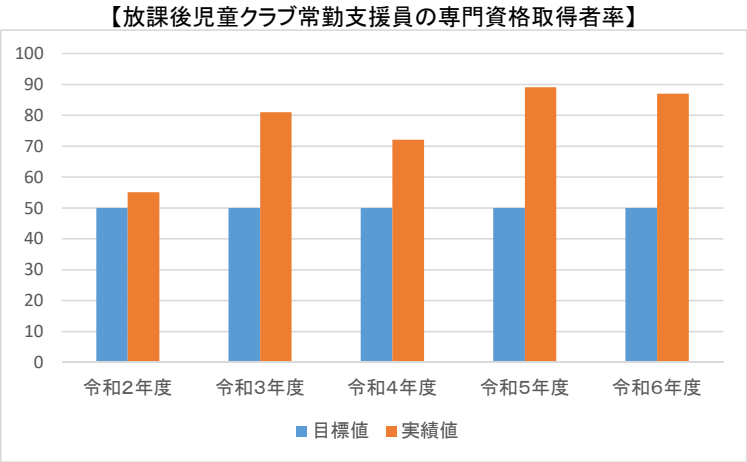
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

基本目標	3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2) 誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア) 安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②① 妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★ 放課後児童クラブ常勤支援員の専門資格取得者率				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度
	令和6年度				実績等
教育委員会	★放課後児童クラブ常勤支援員の専門資格取得者率	50	%以上	-	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	50	50	50	50	50
実績値	55	81	72	89	87
目標に対する達成率	110%	162%	144%	178%	174%
基準値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	◎	◎	◎	◎	◎
PLAN:取組内容	令和6年度までの間 直営の放課後児童クラブにおける常勤支援員の放課後児童支援員認定資格取得者を15名以上				
DO:実績 (事業内容等を記載)		常勤支援員数	認定資格取得者数	※令和7年3月31日現在	
	ひまわり児童会(伊野小)	5	3		
	なのはな児童会(伊野小)	5	5		
	さくらぼ児童会(枝川小)	7	6		
	ホットハウス児童会(枝川小)	3	3		
	たんぽぽ児童会(川内小)	2	2		
	むささび児童会(吾北小)	1	1		
	合計	23	20	取得率 87.0%	
CHECK:分析	高知県が開催する放課後児童支援員認定資格研修は年1回(4日間)開催され、令和6年度は受講要件を満たす4名(補助支援員除く)が資格を取得したが、有資格者の離職があったため、取得者数は令和5年度と比べると3名増に留まった。				
ACTION:今後の対応	受講要件を満たす者には受講するよう、あらゆる機会を通じて周知徹底する。また、常勤支援員に限らず補助支援員に対しても、研修の案内を行い、受講を依頼する。				

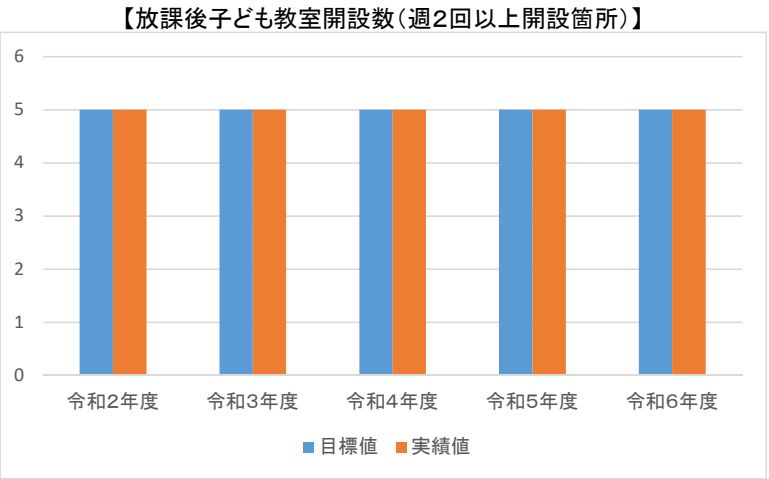
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	放課後子ども教室開設数(週2回以上開設箇所)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★放課後子ども教室開設数(週2回以上開設箇所)	5	か所以上	5	か所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	5	5	5	5	5	か所以上
実績値	5	5	5	5	5	か所
目標に対する達成率	100%	100%	100%	100%	100%	単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%	0%	0%	
評価	○	○	○	○	○	
PLAN:取組内容	令和6年度までの間 週2回以上開設箇所5箇所以上					
DO:実績 (事業内容等を記載)	枝川小学校放課後子ども教室・伊野南小学校放課後子ども教室・伊野小学校放課後子ども教室・神谷小学校放課後子ども教室・長沢小学校放課後子ども教室において週2回以上の開設を行った。					
CHECK:分析	5か所において週2回以上の開設を行い、放課後における学習活動等の充実を図ることができた。					
ACTION:今後の対応	今後においても継続して放課後学習活動の充実を図っていく。現状の取組みが継続できる体制の確保と予算措置を継続して確保していきたい。					

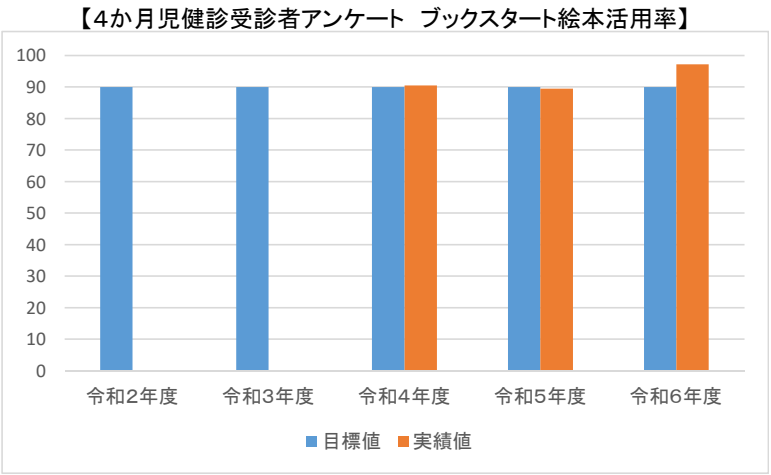
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(2)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	4か月児健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★4か月児健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率	90	%以上	97.8	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	90	90	90	90	90	%以上
実績値	0	0	91	90	97	%
目標に対する達成率	0%	0%	101%	99%	108%	単年度目標
基準値に対する増減率	-100%	-100%	-7%	-8%	-1%	
評価	×	評価なし	◎	○	◎	
PLAN: 取組内容	■ 妊婦、乳幼児親子への読み聞かせや本との出会い事業の推進 (心をそだてる人財育成推進事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	プレママほっとルームへの配本 町内小中学校図書室支援 ぐりぐらひろば訪問(おはなし会) 4か月児健診訪問(ブックスタートセット配布88組) ブックスタート事後アンケート(7か月児保護者対象・回答者74名) ・「ブックスタート(4か月健診)でお渡しした絵本を読んでいますか?」…97.3%(何度か読んだ60.8%、よく読んでいる36.5%)					
CHECK: 分析	【アンケートより】 全体の97.3%がブックスタートで配布した絵本を活用しており、「他の絵本を読んでいる」という方を含めると、家庭で絵本を読んでいる人はいないという結果が得られた。60.8%は複数の家族が読み聞かせをしている。 [絵本に対する子どもの反応に変化から成長を感じることが出来て嬉しい・絵本を読む習慣をつけているのでその時間を大切にしたい・絵本の選択肢があればより嬉しかった・図書館員と話せたことで絵本を借りに行くきっかけになった・図書館に月齢や年齢にあったコーナーを増やして欲しい]などの感想をいただいた。					
ACTION: 今後の対応	アンケートの結果から、乳幼児期から絵本が身近にある環境や、読み聞かせを体験する機会を提供する取り組みは親子の愛着形成の促進に寄与していると考えられることから、ブックスタートセットの配布率100%を目指すとともに、関係機関及び施設との連携のもと、おはなし会や乳幼児健診、学校図書館などで発達段階に応じた切れ目のない読書推進活動に努める。					

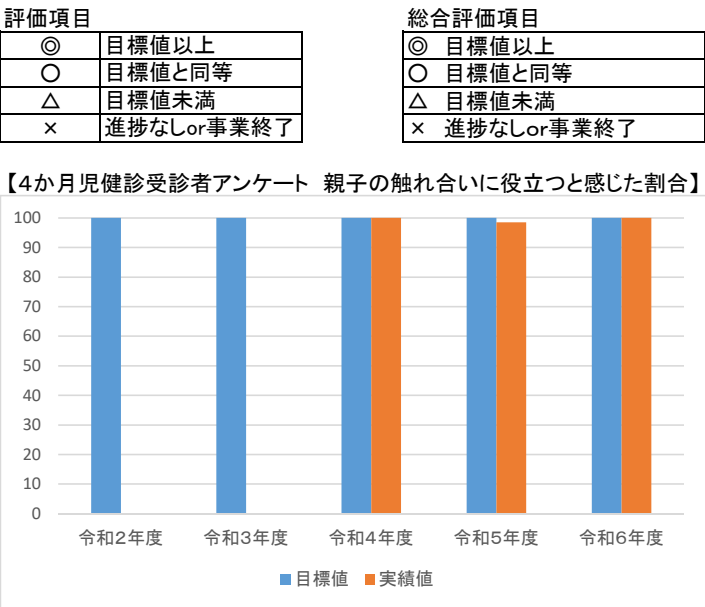
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(2)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	4か月児健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つと感じた割合				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★4か月児健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つと感じた割合	100	%	100	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	100	100	100	100	100	%
実績値	0	0	100	99	100	%
目標に対する達成率	0%	0%	100%	99%	100%	単年度目標
基準値に対する増減率	-100%	-100%	0%	-2%	0%	
評価	×	評価なし	○	△	○	
PLAN: 取組内容	■ 妊婦、乳幼児親子への読み聞かせや本との出会い事業の推進 (心をそだてる人財育成推進事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	プレママほっとルームへの配本 町内小中学校図書室支援 ぐりぐらひろば訪問(おはなし会) 4か月児健診訪問(ブックスタートセット配布88組) ブックスタート事後アンケート(7か月児保護者対象・回答者74名) ・「絵本が赤ちゃんとのふれあいに役立つと思いますか？」…はい100%、いいえ0%					
CHECK: 分析	【アンケートより】 97.3%の母親が読み聞かせをしており、複数の家族が読み聞かせをしていると回答した人は60.8%であった。 なお回答者は全員母親であったが「どのような状況であれば読み聞かせができと思うか」という設問の回答は「時間や周りの助けがある状況ができれば(48.6%)」「自分の気持ちの余裕が出来たら(40.5%)」(※重複)が約半数となっており、乳幼児期に母親が読み聞かせをするためには周囲の協力による余裕が必要であると考えられる。 「夫も読み聞かせしたい!と家族の時間も豊かになった・絵本に手をもっていったりママの顔を見て笑ったりしてくれる・本を見せるとキャッキョッと笑ってびっくりした・絵本がある場所を覚えたのか手を伸ばして「これ読んで」とメッセージを伝えてくるようになった」などの感想をいただいた。					
ACTION: 今後の対応	アンケートの結果から、乳幼児期から絵本が身近にある環境や、読み聞かせを体験する機会を提供する取り組みは親子の愛着形成の促進に寄与していると考えられることから、ブックスタートセットの配布率100%を目指すとともに、関係機関及び施設との連携のもと、おはなし会や乳幼児健診、学校図書館などで発達段階に応じた切れ目のない読書推進活動に努める。					



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

基本目標4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

基本的方向	連番	担当課	具体的な施策(詳細)		単位	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値	R5 目標値	R5 実績値	R6 目標値	R6 実績値	総合評価	R6(最終年度) 時点	累計
(1) 中心市街地内の商店街通りエリアでにぎわい創出事業を展開し、若者流出を食い止め、まちなかに活力を取り戻す取組の推進強化を図る	1	産業経済課	中心市街地 新規開業事業所数		事業所	2	2	2	8	1	4	1	2	1	3	◎	7	○
	2	産業経済課	中心市街地内商店街通りの通行量(定点5ヵ所調査合計値)	平日	人	－	－	871	1,326	890	1,206	909	990	928	1,283	◎	928	
				休日	人	－	－	647	1,162	666	1,077	685	1,003	705	1,135		705	
(2) 中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援 (ア) 中山間地域の維持・創生	3	総合政策課・吾北産業課・本川産業建設課	集落活動センターの開設		か所	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	△	3	
	4	ほけん福祉課	あったかふれあいセンター等の整備 拠点		か所	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	○	2	
	5	ほけん福祉課	あったかふれあいセンター等の整備 サテライト		か所	3	3	3	3	3	3	3	3	3	5	◎	3	
	6	本川住民福祉課	本川地区内の路線バス維持に向けた雇用		人	3	4	3	6	3	6	3	5	3	5	◎	3	
	7	総合政策課	地域課題の解決に資する新たなローカルビジネスの創出数		件	－	－	－	－	－	－	0	0	1	0	△	1	
	8	総合政策課	いの町独自の地域資源を活用したプログラム参加者数		人	－	－	－	－	－	－	30	5	60	0	△	60	
	9	総合政策課	いの町の地域課題解決に共に取り組んでくれる関係人口		人	－	－	－	－	－	－	50	0	100	0	△	100	
	10	総合政策課	いの町の地域課題解決に共に取り組んでくれる企業の連携数		件	－	－	－	－	－	－	0	0	3	0	△	3	

※連番1は、基本目標1連番28の再掲分

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(1)	中心市街地内の商店街通りエリアでにぎわい創出事業を展開し、若者流出を食い止め、まちなかに活力を取り戻す取組の推進強化を図る				
具体的な施策	(ア)	中心市街地内の商店街通りエリアににぎわい創出推進の強化				
	①	商店街通りエリアににぎわい創出推進強化				
項目	★	中心市街地 新規開業事業所数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★中心市街地 新規開業事業所数		7	事業所	7	事業所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	4	5	6	7	事業所
実績値	2	8	12	14	17	事業所
目標に対する達成率	100%	200%	240%	233%	243%	
基準値に対する増減率	-71%	14%	71%	100%	143%	累計目標
評価	○	◎	◎	◎	◎	
PLAN:取組内容	■ 企業立地の取り組み（いの町産業振興奨励金）等 ■ いの町空き店舗対策家賃補助助成事業（創業支援事業） ■ 第2期いの町中心市街地活性化計画を策定（R4.12月）					
DO:実績 （事業内容等を記載）	いの町産業振興奨励金（高知食糧㈱たまごセンター）を実施した。 いの町空き店舗対策家賃補助助成事業 4件：廣福堂（雑貨）、カラアゲ推し鶏（飲食）、ライアンズキッチン（飲食）、(株)好日（児童福祉施設）を実施した。 新規開業 3件：シェルパ（(株)好日）（児童福祉施設）、ヤイロドーナツ（飲食）、和耕肉店（小売）※新事業主による開業					
CHECK:分析	近年は安定した新規出店がある。同エリアの店舗数の推移は、H27・77店舗、R1・73店舗、R4・74店舗、R6・76店舗となっており、廃業する事業者もいる中、店舗数は一定維持されている。また、中心市街地活性化事業などでイベントを実施し、商店街は交流の場や集客の役割を担っている。 毎年一定の新規出店の相談があるが、利用可能な空き店舗が少なく、出店支援が行き届いているとは言い難い。 中心市街地で開催されるイベント等には、同エリアの事業者への積極的な参加を呼びかけ、店舗の認知度・売上げ向上を促した。					
ACTION:今後の対応	使える空き店舗数を増やすため、れんけいこうちや商工会等と連携して情報収集や情報発信力を向上させる。 商工会等と連携し、新規開業した事業者にも、中心市街地で開催されるイベント等へ積極的に参加してもらい、店舗の認知等を促す。					

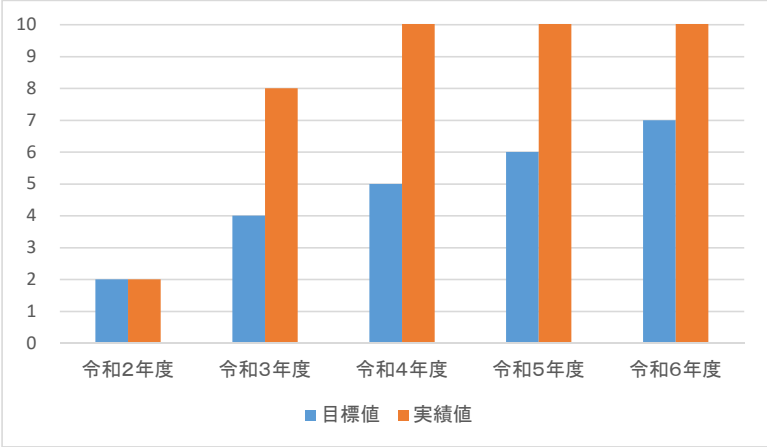
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【中心市街地 新規開業事業所数】

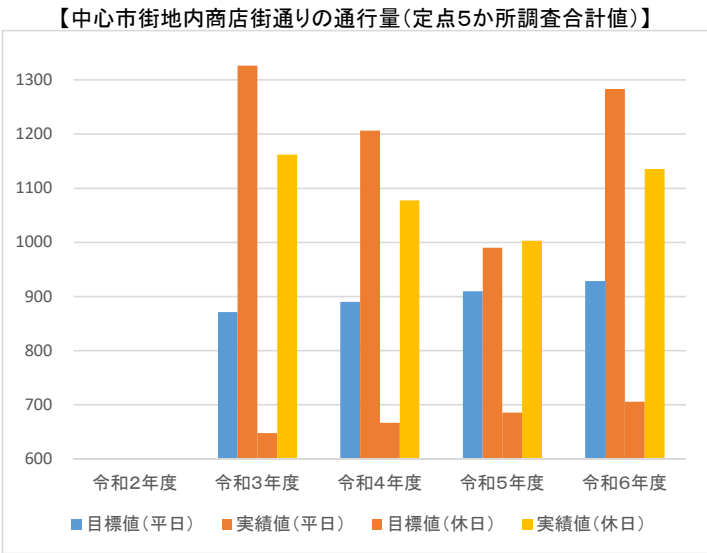


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(1)	中心市街地内の商店街通りエリアにぎわい創出事業を展開し、若者流出を食い止め、まちなかに活力を取り戻す取組の推進強化を図る				
具体的な施策	(ア)	中心市街地内の商店街通りエリアにぎわい創出推進の強化				
	①	商店街通りエリアにぎわい創出推進強化				
項目	★	中心市街地内商店街通りの通行量(定点5か所調査合計値)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★中心市街地内商店街通りの通行量(定点5か所調査合計値)	平日928人 休日705人	人	-	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値(平日)	-	871	890	909	928	人
実績値(平日)	-	1326	1,206	990	1,283	人
目標値(休日)	-	647	666	685	705	人
実績値(休日)	-	1162	1,077	1,003	1,135	人
目標に対する達成率	-	164%	147%	125%	148%	単年度目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-	-	
評価		◎	◎	◎	◎	
PLAN: 取組内容	①まちづくりのための社会実証実験・・・新たなコンテンツの実施により商店街ににぎわいを作ることができるか検証を行う ②住宅店舗等活用可能性調査 中心市街地エリアにある空き店舗等の建物の基本的構造の調査と具体的な活用方法の提示、エリアマネジメントについての調査事業を実施する ③空き店舗家賃支援事業 空き店舗を活用した新規出店者に対し、家賃の補助を行うことで新規出店を促す ④中心市街地空き店舗等活用事業 空き店舗等の玄関分離、トイレ設備増設等の改築整備の補助することで新規出店を後押しする					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	R6.8.24実施おらんくのサマーセミナー、R6.11.1～17実施イノビエンナーレ(いの美術展)、R6.11.23実施いの博覧会、R6.12.7実施INOEKIクリスマスマーケット 空き店舗家賃支援事業: 中心市街地エリアで空き店舗を活用して、新規出店した事業者に対し、1/2、月50,000円を上限に補助を行った。・・・補助件数4件、補助金額1,140,000円					
CHECK: 分析	参加者された方の反応は良く、商店街に人を呼び込むコンテンツとして有効と感じた。実施主体を商店街事業者とすることで、公民連携した取り組みとなっており、今後も継続して実施することで中心市街地の活性化につながる。 家賃補助があることで、中心市街地エリアへ出店する一つの要因となっており、創業支援につながっている。					
ACTION: 今後の対応	今後も中心市街地のにぎわいづくりのための様々な企画を、商店街事業者と連携して試していく。家賃補助が、新規出店のきっかけとなっていることから、継続して実施していく。					

評価項目	総合評価項目
◎ 目標値以上	◎ 目標値以上
○ 目標値と同等	○ 目標値と同等
△ 目標値未満	△ 目標値未満
× 進捗なしor事業終了	× 進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4

進捗

3

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(1)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
	①	小さな拠点の開設・強化				
項目	★	集落活動センターの開設数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課・吾北産業課・本川産業建設課	★集落活動センターの開設数	3	か所	2	か所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	2	2	3	か所
実績値	2	2	2	2	2	か所
目標に対する達成率	100%	100%	100%	100%	67%	複数年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%	0%	0%	
評価	○	○	○	○	△	
PLAN:取組内容	中山間地域の維持・創生に向け、小さな拠点として「集落活動センター(地域の支え合いや活性化の拠点)の整備促進や小規模で多機能な高知型福祉の支援拠点として、あったかふれあいセンターの整備・機能強化を図るとともに、地域の資源や特性を活かした産業づくり支援を促進する。					
DO:実績	【ふれあいの里柳野】 イタダリの生育状況が順調で、昨年に引き続きイタダリの皮剥ぎから塩漬けまでの一次加工を行った。また、イタダリの塩漬けを活用したピクルスをテスト販売し、ブラッシュアップを重ね、令和7年1月より道の駅むささびの里での本格販売となった。高齢者を対象にした見守り活動及び地域の食材を使った月2回の配食サービスによる生活支援を実施した。 【氷室の里】 原本舞茸の販売を「とさのさと」で行った。また、舞茸収穫体験イベントを仁淀ブルー体験博にて実施し10名の参加、県外からの参加もあり、参加者全員が満足され、最優秀賞を受賞した。また、集落活動センターと大学の連携事業として、高知県立大学の学生4名を受け入れ、作業を共に行った。 【新規開設】 小さな集落活性化事業を活用し、上東地区、神谷地区で地域活性化事業を行い、集落活動センター設立の可能性について検討を行った。吾北地域(1地区)においては、地区として早期に集落活動センターを開設したいという意向がある訳ではないが、区長としては必要性を感じており、役員会において集落活動センター立ち上げの検討中。また、伊野地区でも2地域で設立の意向があり、県、関係者を集めて説明会を行った。					
CHECK:分析	【ふれあいの里柳野】 直売施設の運営、配食サービス、イタダリの栽培・加工等、施設・環境を十分に活用した取り組みがなされている。食堂運営については、定休日を連続した2日間に変更、営業時間も1時間短縮をすることで、無理のない営業スタイルに見直した。令和5年度に復活した新そばとこんにやく祭り、ソバ畑が猪による被害を受けたことや、高齢化等により活動に参加できる人が不在であったため中止となった。イベントに限らず、地域住民が無理なく活動を続けられるよう、取組も見直す時期にきている。 【氷室の里】 舞茸の販売額は前年とほぼ横ばいの280万円。例年以上の夏の暑さにより、舞茸の収穫時期、収穫量の予測が立たず、金高堂書店で予定されていたイベント販売ができなくなった。仁淀ブルー体験博の収穫体験は好評だったが、森林軌道を活用したイベントは参加人数が集まらず、中止となった。今後イベントの内容を見直す時期にきている。 【新規開設】 小さな集落活性化事業を活用した2地区については、地区の合意形成や高齢化による担い手不足等の課題が横断しており、地区での話し合いの結果、集落活動センターは設立しない方針となった。吾北地域の1地区については、地区の合意形成がうまくいけば設立に向けて進んでいくと考えられるため、引き続き支援を行う必要がある。					
ACTION:今後の対応	【ふれあいの里柳野】 住民同士の連携により、農地保全や食堂兼直販所の運営、イベントの実施、令和元年度から栽培しているイタダリを活用した塩漬けやピクルス等特産品づくり・外販をきっかけに、より多くの住民の参加を促し、持続可能な集落活動を目指していくよう、引き続き高知県地域支援企画員・中央西農業振興センターと連携し、支援していく。 【氷室の里】 舞茸を中心とするきのこの生産・販売・流通体制は確立されてきた。また、今後も本川じやがいもの栽培・販売も継続して実施する。今後は山中家住宅を活用した体験イベントを企画するなど、地域の魅力を発信しながら、関係人口の増加につなげていく。 【新規開設】補助制度の情報共有のほか、地区長や地域住民からの要望に応じて、ヒアリングを行い、設立の意向がある地区については、勉強会、説明会を積極的に行い、新規設立地区の発掘を引き続き行っていく。					

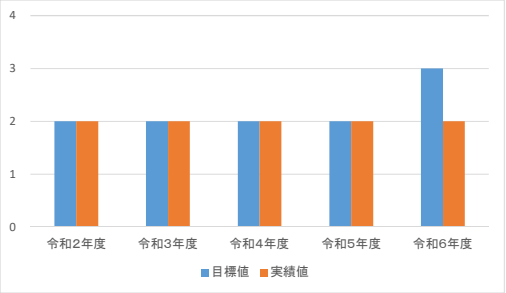
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【集落活動センターの開設数】

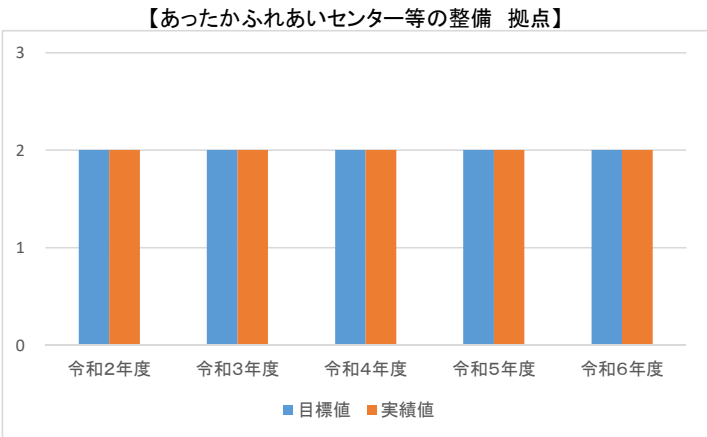


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	集落活動センターをつくってからがスタートであり、手厚い支援があれば、地域が活性化し、アイデアにあふれ、結果として、行政コストが落ちていくと認識する。 町の現在の集落活動センターの支援状況、今後どうしていくのか。 集落活動センターになる前の集落についての考えは。 →【集落活動センター柳野】 いたどりピクルスの加工に対して、人的支援をおこなっている。また、資料作成に関するアドバイスをおこなっている。 【集落活動センター氷室の里】 集落支援員を1名、地域おこし協力隊員を専属で1名配置している。作業で人手不足の場合は、産業建設課職員も協力しながら事業を進めている。 【全体的として】 集落活動センターが立ち上がっていない地域は、ニーズ把握をおこない、伴走支援をしっかりとしていく。
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(2)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
	①	小さな拠点の開設・強化				
項目	★	あったかふれあいセンター等の整備 拠点				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
ほけん福祉課	★あったかふれあいセンター等の整備 拠点		2	か所	2	か所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	2	2	2	か所
実績値	2	2	2	2	2	か所
目標に対する達成率	100%	100%	100%	100%	100%	複数年度 目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%	0%	0%	
評価	○	○	○	○	○	
PLAN: 取組内容	【5か年度の目標】 子どもから高齢者まで年齢や障害の有無に関わらず、誰もが気軽に集える場所を提供するとともに、地域住民の健康づくり、生きがいづくり活動や要配慮者宅の訪問、相談、つなぎ、生活支援等を行う。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	伊野地区においては、高齢者の集いだけではなく、中堅・若年世代が就労体験できる場所としての機能を高めた。その主たるものであるが農福連携であり、福祉サービスの対象とならないひきこもり状態の人等への就労支援や社会参加につながる事ができた。 また、子育てをサポートしている団体の横のつながりを強化するための活動や枝川地区の待機児童を中心とした子どもの居場所づくりの創成にも努めた。 吾北地区においては、独居の高齢者宅への訪問や集いを行う中で、高齢者の身体機能の低下が顕著になってきたのが確認できたので、集いの内容を利用者の状態に合わせたプログラムとした。 なお、当地区のひきこもりの方や障害者等の把握のため、町保健師との情報共有に努めた。					
CHECK: 分析	全般的には、あったかふれあいセンター事業の理念に沿った年齢・性別などの属性にとらわれない居場所の提供や活動ができたと思われる。					
ACTION: 今後の対応	伊野地区においては、あったかふれあいセンターの利用者の地域のつながりを重要視した支援を実施し、「自立支援」を意識した関わりを行う。 吾北地区においては、ひきこもりの方や障害者へのアプローチに関しては、関係機関(保健師・包括・行政等)から繋がれた時、対応できる体制づくりに努める。また、研修などに参加し、より深い知識を身につける。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

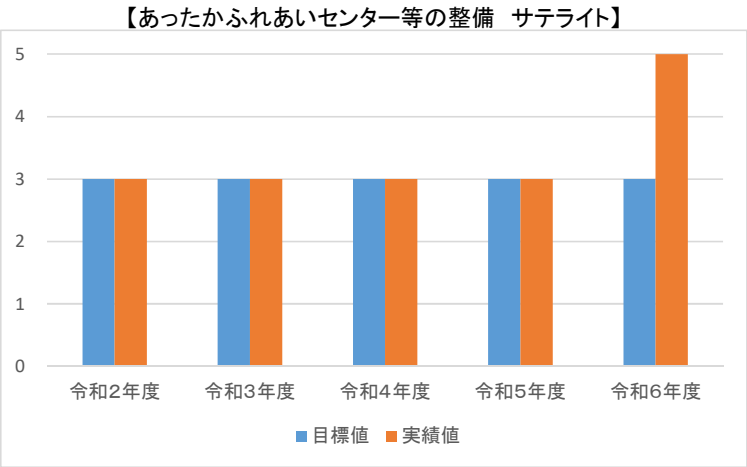


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	介護支援、交通手段の確保など、地域ニーズを把握し、福祉分野の社会福祉協議会とも連携しながら、より良い生活支援サービスがどういったものなのか協議していただきたい。
総合評価	○ 目標値と同等

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(2)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」等の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
	①	小さな拠点の開設・強化				
項目	★	あったかふれあいセンター等の整備 サテライト				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
ほけん福祉課	★あったかふれあいセンター等の整備 サテライト	3	か所	3	か所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	3	3	3	か所
実績値	3	3	3	3	5	か所
目標に対する達成率	100%	100%	100%	100%	167%	複数年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%	0%	67%	
評価	○	○	○	○	◎	
PLAN:取組内容	ニーズ調査において下八川、三水は地域の集まり(体操等)が少ないという声があったことを念頭に置き、介護予防の体操や創作活動などを行うと同時に、地域の高齢者が孤立しないように買い物支援など生活支援も行う。 なお、令和6年度からは活動空白地域であった勝賀瀬、鹿敷地区においてもサテライトの展開を開始した。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	◎伊野 サテライト勝賀瀬/勝賀瀬公民館 開催回数:8回 サテライト鹿敷/土佐和紙工芸村 開催回数:8回 ◎吾北 サテライト清水/清水公民館 開催回数 9回 サテライト下八川/下八川公民館 開催回数 6回 サテライト三水/三水コミュニティ/ 開催回数 4回					
CHECK:分析	サテライトを実施する中、伊野・吾北地区双方において買い物等に困難な点があることが再確認された。 なお、吾北のサテライトにおいては、移動手段のない方や量販店に行けない方を対象に、町内外へ買い物ツアーを実施。満足度が高かったため、次年度以降も実施を行いたい。					
ACTION:今後の対応	いの町生活支援コーディネーターと連携し、地域で活動している団体・集いの運営をサポートする。 生活支援(買い物など)を強化する。					

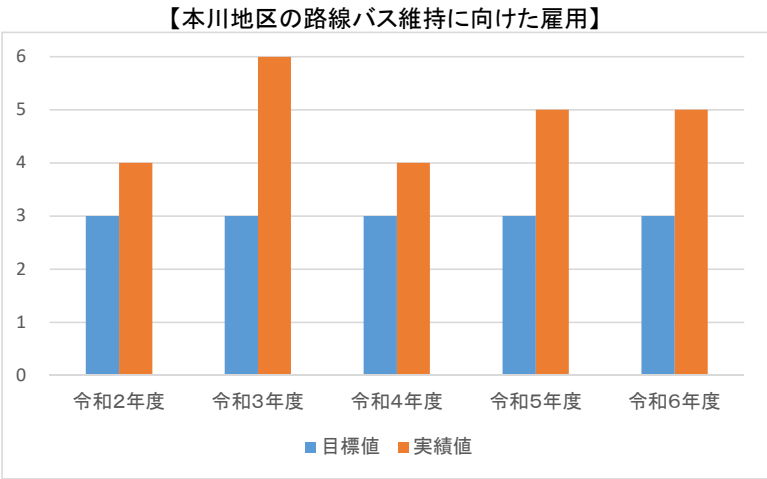
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(2)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」等の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
	②	中山間地域の資源や特性を生かした産業づくりの支援				
項目	★	本川地区の路線バス維持に向けた雇用				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
本川住民福祉課	★本川地区の路線バス維持に向けた雇用	3	人	3	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	3	3	3	人
実績値	4	6	4	5	5	人
目標に対する達成率	133%	200%	133%	167%	167%	単年度目標
基準値に対する増減率	33%	100%	33%	67%	67%	
評価	◎	◎	◎	◎	◎	
PLAN:取組内容	市町村有償運送事業(長沢～寺川間・長沢～大森間)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	会計年度任用職員を中心とした5名体制で、円滑なバス運行ができた。					
CHECK:分析	地域住民にとってバス路線の存在は単なる移動手段にとどまらず、安心して地域で生活していく心のゆとりにつながり、有償運送事業による路線バスの維持は、非常に大きな意義がある。 また、それを担う運転手の雇用は、居住者の定着につながり、ひいては地域の活性化に寄与する。					
ACTION:今後の対応	高齢により運転免許証自主返納者の増加が見込まれるなか、受け皿となる交通手段として有償運送事業を継続していく。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

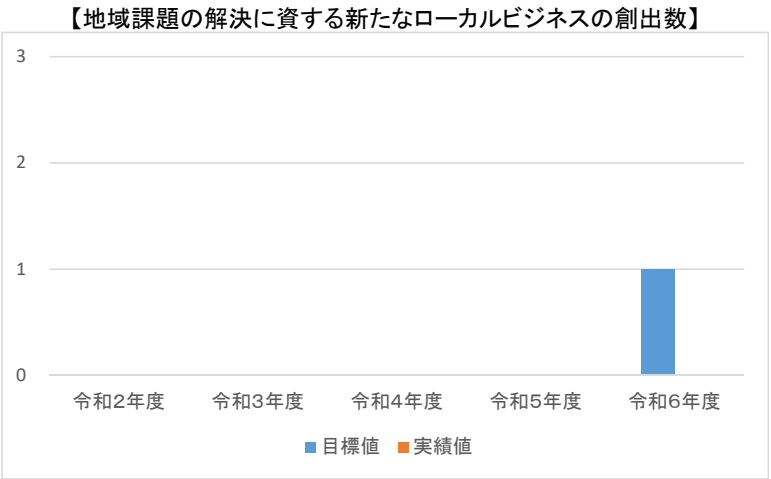


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(2)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」等の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
	③	中山間地域の地域資源や地域課題を活用した新たなローカルビジネスの創出				
項目	★	地域課題の解決に資する新たなローカルビジネスの創出数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	地域課題の解決に資する新たなローカルビジネスの創出数	1	件	0	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値				0	1	件
実績値				0	0	件
目標に対する達成率				0%	0%	単年度目標
基準値に対する増減率				0%	0%	
評価				評価なし	△	
PLAN:取組内容	新たなローカルビジネス創出事業という位置づけで、本川小学校校舎・体育館、脇ノ山幼稚園、下八川小学校 以上4つの遊休施設を活用し地域課題解決に取り組む創業者への支援を実施する。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	①受入れ態勢構築に向けた地域との調整・協議を実施 ②関係人口及び連携企業の開拓に向けた個人・法人向けのPR動画を作成 ③企業4社に訪問もしくはオンライン会議を実施し、企業視点での意見聴取及び活用検討を行った。					
CHECK:分析	上記3つの取組実績に留まり、調整が必要な事項があるため創業者の公募には至っていない。					
ACTION:今後の対応	関係課と公募に向けた調整を行い、整い次第作成したPR動画を活用し、みんなの廃校プロジェクトで校舎を活用する創業者を募集する。					

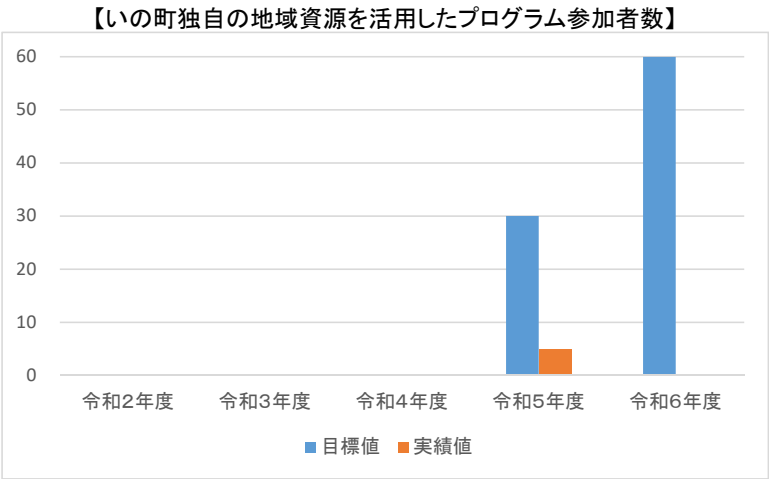
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(2) 中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」等の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア) 中山間地域の維持・創生				
	③ 中山間地域の地域資源や地域課題を活用した新たなローカルビジネスの創出				
項目	★ いの町独自の地域資源を活用したプログラム参加者数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)			基準値: 令和元年度	
	令和6年度			実績等	
総合政策課	いの町独自の地域資源を活用したプログラム参加者数		60	人	0 人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 単位
目標値				30	60 人
実績値				5	0 人
目標に対する達成率				17%	0%
基準値に対する増減率				500%	0%
評価				△	△
PLAN: 取組内容	新たなローカルビジネス創出事業という位置づけで、本川小学校校舎・体育館、脇ノ山幼稚園、下八川小学校 以上4つの遊休施設を利活用し地域課題解決に取り組む創業者への支援を実施する。 町外の人材や企業に対し、いの町に足を運んでもらうための地域資源を活用したツーリズム、研修プログラムなどの造成を行う。				
DO: 実績 (事業内容等を記載)	当初は企業視点でのモニタリングツアーを計画していたが、協議を重ねた結果手法を見直し、対話形式による意見聴取及び活用検討(サウンディング調査)へと変更し、企業4社に訪問もしくはオンライン会議を実施した。				
CHECK: 分析	広く公募を行うモニタリングツアーでなく、業種を絞り込み、ある程度目途をつけて事前に業者にあたっていくことが効果的と考え、サウンディング調査を実施することとした。よって、地域資源を活用したプログラム実施には至っていないため、実績値は上がっていない。				
ACTION: 今後の対応	研修プログラムの造成ではなくみんなの廃校プロジェクトで創業者を募集することとし、興味を示す創業者がいれば案内を行う。				

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

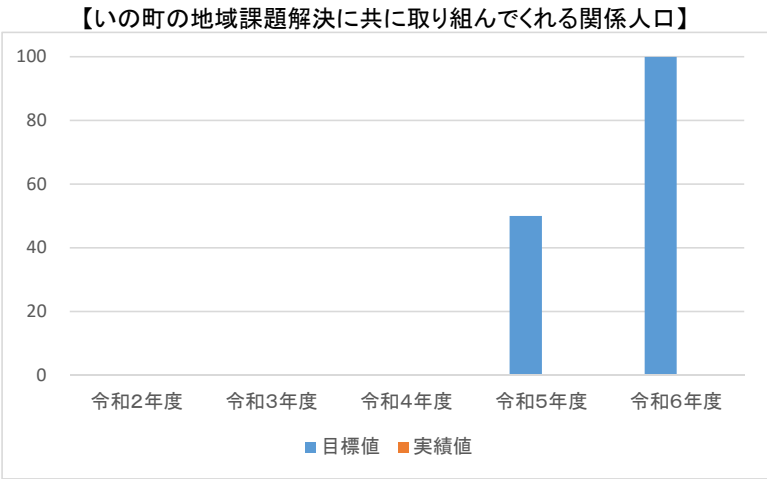


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(2)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」等の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
	③	中山間地域の地域資源や地域課題を活用した新たなローカルビジネスの創出				
項目	★	いの町の地域課題解決に共に取り組んでくれる関係人口				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	いの町の地域課題解決に共に取り組んでくれる関係人口		100	人	0	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値				50	100	人
実績値				0	0	人
目標に対する達成率				0%	0%	単年度目標
基準値に対する増減率				0%	0%	
評価				△	△	
PLAN: 取組内容	新たなローカルビジネス創出事業という位置づけで、本川小学校校舎・体育館、脇ノ山幼稚園、下八川小学校 以上4つの遊休施設を利活用し地域課題解決に取り組む創業者への支援を実施する。 継続的に町の課題解決や新たな価値創出に向けて関わり続ける関係人口の創出に取り組む。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	創業者誘致及び関係人口増加に向け、建物の現状や地域の風景等を民間事業者映像に伝えることを目的に、誘致の対象となる企業が異なる場合にも対応できるよう、下八川小学校と本川小学校、それぞれに対応した動画を個別に制作した。					
CHECK: 分析	動画作成のみに留まり、関係人口の増加につながる具体的な取組は実施できておらず、数値的な結果は表れていない。					
ACTION: 今後の対応	遊休施設の創業者の募集を行うこととし、まずは創業者の確保に努める。関係人口の創出については、創業者の事業展開によっては可能と考えるため、官民連携で取組むことも視野に入れる。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

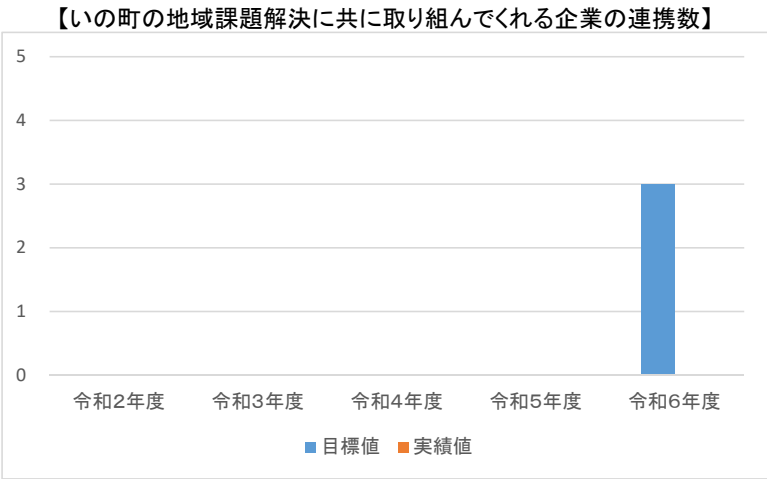


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(2)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」等の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
	③	中山間地域の地域資源や地域課題を活用した新たなローカルビジネスの創出				
項目	★	いの町の地域課題解決に共に取り組んでくれる企業の連携数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	いの町の地域課題解決に共に取り組んでくれる企業の連携数		3	件	0	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値				0	3	件
実績値				0	0	件
目標に対する達成率				0%	0%	単年度目標
基準値に対する増減率				0%	0%	
評価				評価なし	△	
PLAN: 取組内容	新たなローカルビジネス創出事業という位置づけで、本川小学校校舎・体育館、脇ノ山幼稚園、下八川小学校 以上4つの遊休施設を利活用し地域課題解決に取り組む創業者への支援を実施する。 モニタリングツアーやプロモーション活動を通して、当町の取組に共感いただき地域課題解決に共に取り組む企業との連携を図る。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	当初は企業視点でのモニタリングツアーを計画していたが、協議を重ねた結果手法を見直し、対話形式による意見聴取及び活用検討(サウンディング調査)へと変更し、企業4社に訪問もしくはオンライン会議を実施し連携の機会を設けた。					
CHECK: 分析	企業訪問とオンライン会議を実施することで、町としての取組は情報発信できたものの、地域課題解決を共に取り組む企業との具体的な連携には至っていない。一方で、校舎を活用した創業者誘致に関して、企業視点での様々な考えをいただくことができた。また、オンライン会議を実施した中で、県内でこの取組に関心を持つ事業者がいれば事業マネジメントの支援が可能という事業者とマッチングすることができた。					
ACTION: 今後の対応	当町の取組に関しては情報発信ができ、具体的な連携はできていないが素地はできたと考える。創業者の公募を行い、その中で事業マネジメントの支援が必要であれば、事業者との連携を図っていく。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満